



NO. 87  
2014.8

# 農工通信

*The Graduates' Association of  
Tokyo University of Agriculture and Technology*

メールアドレスの新規登録をお願いします(P.36の事務局便り参照)。  
懐かしい農工大の画像を募集しています(編集後記参照)。

## 目 次

■ 会長挨拶 .....	1
■ 理事長就任の挨拶 .....	2
■ 理事長退任の挨拶 .....	2
■ 同窓会第51回理事会・通常総会 .....	3
■ 同窓会役員等体制と支部長及び連絡員表 .....	7
■ 叙勲受章にあたり .....	8
藤森 明彦（工化S42）、井草 五郎（林S32）、 小野 宇三郎（織別S33）	
■ 退職にあたり .....	11
加茂前 秀夫、蜷木 理、 服部 順昭、普後 一、 松村 昭治、仁藤 修、松岡 英明	
■ 平成25年度同窓会学生援助事業報告 .....	13
■ 平成25年度卒業生・修了生 .....	14
■ 部会・支部・クラス会だより .....	21
■ 掲示板 .....	33
■ 広告（株アルマイト触媒研究所、株井口一世） .....	34
■ 事務局だより・事務局長の挨拶 .....	36
■ 編集後記	

## 表紙の絵

## 「ミハスの路地（スペイン）」小野 泰治（林S29）

71歳で退職後、旅を楽しみ世界各国（20か国余り）で水彩画を描いてきました。10年の区切りとして今年2月に初個展を開催、多くの皆様に支援され無事終了しました。展示作品の中から私なりに心に残るものを選び出し、記録として作品集を作りました。同窓会ホームページ[ギャラリー]に掲載させていただきましたので、ご高覧いただければ幸いです。

## ■ 会長挨拶 ■

同窓会長 草野 洋一（養蚕S47）



東京農工大学創基140周年・同窓会創立50周年の合同式典が、今年9月19日に府中の森芸術劇場で開催されることになっています。同窓会創立50周年記念事業は平成18年から検討が始まり、平成20年度からは大学の創基140周年の記念事業と合同で進めることとなり、その具体的な活動が始まりました。

しかし、平成20年9月にはリーマンショックに見舞われ、日本経済が大きな打撃を受けている中での寄付金のお願いとなり、同窓会会員の皆様には大きな負担をおかけすることになってしまいました。また、平成23年3月には、東日本大震災が発生し、日本中が多くの困難に遭遇している中での140周年記念会館（OBルームを併設）の建設でしたし、同窓会50年史の発刊でした。

このような多くの予期せぬ困難にぶつかりながらも、畑中前々会長、藤森前会長をはじめとして、大学の案件だけでもお忙しい常務理事の先生方、そして何よりも同窓会の皆様方からの並々ならぬ御支援により、これらの具体的な結果を出すことができたのであります。改めて、関係者の方々に、心から感謝申し上げる次第です。

ところで、順風時でも大変な上述の事業を、近年の歴史に無いような極めて強烈な、しかも何回も吹いた大逆風を突破してやり遂げたエネルギーは何であったのでしょうか。私は、東京高等農林と東京高等蚕糸という農工大のルーツ

に起因しているのではないかと考えています。両校とも実習が多いですから入学定員を少なくする一方、多くの先生を配置する必要があります。他方、両校とも東京にあったことから、この分野の旧高等専門学校としては全国版の学校であり、この少ない定員に全国から集まってきたので、かなりの割合が、当時の駒場寮と西ヶ原寮に入っていたようです。この少人数が、同学年の授業で横につながり、寮では先輩後輩が同じ部屋で生活して縦につながり、それに加えて多くの先生方が面倒見てくれるのですから、これは縦横斜めの濃厚な付き合いになるはずで。また、農学系は広い実習用の土地を必要としますし、蚕糸も広い桑畑を必要としましたから、都市化の拡大に伴い、都心から小金井・府中という当時の東京の田舎に引っ越しました。私は小金井の櫛寮に入っていましたが、当時（昭和45年頃）でも新宿に行くことを「東京に行ってくる」と言っていました。大東京の田舎のような場所にキャンパスがあったことも大きいと思います。田舎人は、隣人の顔を知らないような都会人と違って、付き合いが濃厚なのです。このようなことが重なり合って、同窓会のポテンシャルになっているような気がするのですがいかがですか。年齢が離れていても他社の方でも、同窓会というだけで近い感じになった覚えはありませんか。これはどこの大学にもあることではないと思うのですが。

## ■ 理事長就任の挨拶 ■

鈴木 創三（農学S47）



このたび理事長を務めさせていただくことになりました。未熟というより不熟な者ですが、宜しくお願ひ申し上げます。

ここ数年の同窓会活動を顧みますと、創立50周年記念事業を契機として、1) 会則・規則の改正・整備や財務管理の変更などの体制の整備、2) 農工通信の年2回発行やホームページによる会員情報などの広報活動確立、3) 部会・支部活動の強化・活性化として総会・懇親会への積極的な理事派遣、4) 「類似した趣味・活動の士からなる集団」部会制度の新設などが行われて参りました。今後は、これらに加えて既に理事会で検討している、5) 若手会員の参画促進、6) 海外在住会員の活動支援、7) 八王子分収林の契約延長問題などについても、会員の

皆様のご意見・ご意向を直接あるいは部会・支部を通じて伺いながら、「世界一素晴らしい!!!」（と自負しております）我々が「農工大学」の「同窓会活動」を続けていきたいと考えております。

私の卒業した農学科では、同期の養蚕学科と合同クラス会を毎年開催しております。毎回、思い出話に花が咲き、本当に楽しい集まりになっております。クラス会、支部・学科の部会活動、会員の慶弔などの連絡は同窓会活動の基幹と考えております。農工大のキャンパスで青春の大切なひと時を過ごされた同窓生が集まり、楽しいひと時を過ごせるようなさまざまな活動を進めたいと考えております。会員の皆様には暖かいご支援を受け賜りますようお願い申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。

## ■ 理事長退任の挨拶 ■

渡邊 敏行（材料S61）



会員の皆様のご協力、ご鞭撻を頂きながら、2年間理事長を務めさせて頂きました。誠に有り難く、厚く御礼を申し上げます。

理事長の就任に際しましては、部会、支部の活性化を第一の目標に掲げさせていただきました。Facebookを活用してバーチャルな同窓会を開催できるような環境作りをしてみました。まだこれといった具体的な成果は出ておりません。Facebookの利用方法を知らない、農工大同窓会Facebookページの存在を知らない会員が大多数であると思われます。今後、Facebookを活用したバーチャル同窓会の開催、あるいは、同窓会から母校の近況および同窓生の活動に関してタイムリーな情報提供を行うためには会員のe-mailアドレスの補足率を向上させることが必須であると思われる。会

員動静はがきには必ずe-mailアドレスをご記載いただき、ご返信いただけたら幸いです。なお、同窓会が所有している会員の個人情報の公開については、ご本人の意向に沿って管理・運営しております。異動が無い場合でもe-mailアドレスを同窓会にお知らせしていない方は、会員動静はがきやメール等で是非お知らせください。

新理事長には、部会、支部の活性化および海外支部の設立にむけて、さらにご尽力頂けるものと思います。なお、小生、理事長職は退任致しますが、常務理事として引き続き同窓会の運営に携わってまいりますので、県支部総会を開催される時はお声をおかけいただければ幸いです。これまで同窓会を支えて頂いた会員の皆様には重ねて御礼申し上げます。

# 同窓会第51回理事会・通常総会

■日時：平成26年5月24日（土）13：30～14：50 ■場所：小金井キャンパス工学部講義棟 ■出席者：180名（内委任状62名）



第51回理事会・通常総会は、5月24日（土）、母校小金井キャンパス工学部講義棟で開催された。通常総会に先立って、理事会が開催され、渡邊理事長を議長に選出した。議長から、平成26・27年度理事の推薦、平成26・27年度理事長・副理事長・常務理事の指名、平成26・27年度監事の推挙、名誉会長・顧問の推挙、特別会員の推薦及び通常総会議案の説明があり、承認された。

通常総会の開催にあたって、鈴木副理事長から、出席者が定足数を超え通常総会が成立した旨の報告があった。草野会長から出席された方々及び来賓の方々に対してのお礼と、有意義な討論のお願いがあった。続いて、来賓の方々（松永学長、細瀬副学長、堤副学長、渡邊事務局長、船田連合農学研究科長、畑中名誉会長及び梶井名誉顧問）の紹介があった後、松永学長から大学の最近の取り組み（第3期中期目標「世界が認知する研究大学へ」、世界が直面する食料・エネルギーの課題解決、世界大学ランキング100位以内へ、グローバルイノベーション研究院設置等）の紹介があった。

引き続き鈴木副理事長から、通常総会の議長については、会則35条に基づき草野会長が務める旨の説明があった後、会則37条第2項により草野会長、深水監事、竹内監事が議事録署名人となり議事に入った。

## 議事

- 平成25年度事業報告（案）の件**  
大里総務副部長から、平成25年度事業報告【別記1】について報告があった。
- 平成25年度収支決算報告（案）の件**  
渡邊理事長から、平成25年度収支決算【別記2】について報告があった。
- 平成25年度監査結果報告の件**  
深水監事から、平成25年度の会計について収支計算報告書、伝票、帳簿の精査をした結果、何れも適正に処理されていること、事業・業務執行状況も適正であること、また、個人情報の保護に関する取り扱いも適正に行われている旨の報告があった。  
議事1. 議事2. 議事3. についてまとめて審議した結果、承認された。
- 同窓会会則の一部改正（案）の件**  
渡邊理事長から、会則の一部改正について提案説明があり、審議の結果一部修正のうえ【別記3】のように承認された。
- 平成26年度事業計画（案）の件**  
大里総務副部長から、平成26年度事業計画【別記4】について提案説明があり、審議の結果、承認された。
- 平成26年度収支予算（案）の件**  
渡邊理事長から、平成26年度収支予算【別記5】について提案説明があり、審議の結果、承認された。
- 平成26・27年度理事・代議員の選任（案）の件**  
渡邊理事長から、平成26・27年度理事・代議員の選任について、理事会で推選された次の者について【別記6】に基づき提案がなされ、原案どおり承認された。
- 平成26・27年度 理事長・副理事長・常務理事の指名報告の件**  
渡邊理事長から、資料に基づき理事の中から、会長が理事長・副理事長・常務理事の指名をした旨の報告があった。  
【P.7「同窓会役員等体制と支部長及び連絡員表」参照】
- 平成26・27年度 監事の選出（案）の件**  
渡邊理事長から、平成26と27年度 監事の選出について、理事会で推挙された次の者について資料に基づき提案がなされ、原案どおり承認された。  
【P.7「同窓会役員等体制・支部長及び連絡員表」参照】
- 名誉会長・顧問の推挙（案）の件**  
渡邊理事長から、名誉会長・顧問の推挙（案）について、資料に基づき提案がなされ、原案通り承認された。  
名誉会長 前会長 藤森 明彦（工化S42）  
顧問 元理事長 生原 喜久雄（林S41）、元理事長 松岡 正邦（化工S43）
- 特別会員の推薦報告の件**  
渡邊理事長から、資料に基づき、理事会で推薦された特別会員28名の報告があった。
- 集団部会設置報告（2部会）の件**  
渡邊理事長から資料に基づき、農工音楽祭及び地域再生・地域活性化に東京農工大学の知的資源を活かすネットワークの2集団部会を設置したことについて報告があった。
- 同窓会会員名簿の発行再開の件**  
渡邊理事長から資料に基づき、同窓会会員名簿再発行についての常務理事会方針が説明された。審議の結果、現在は発行しないと言う総会決定は生きていること、動静調査はがきの掲載不可欄の検討をすること、卒業時の動静調査はがきの

記入徹底をすることを確認した上で、常務理事会方針が了承された。

## 14. その他の件

- 東京農工大学事務局から、昨年10月に「東京農工大学基金」が設立された旨の報告があった。その後、東京農工大学教育研究振興財団から、大学基金の今後の動向を見ながら財団の対応を検討していく旨の説明があった。
- 渡邊敏行氏による退任の挨拶、鈴木創三氏による新任の挨拶があった。

通常総会終了後、140周年記念ホールにおいて懇親会（約130名参加）が開催された。

## 【別記1】

### 平成25年度事業報告

#### 1. 第50回理事会・通常総会の開催

平成25年5月25日（土）府中キャンパスにて第50回理事会・通常総会を開催した。議事内容は、1）平成24年度事業報告（案）、2）平成24年度収支決算報告（案）、3）平成24年度監査報告、4）同窓会会則の一部改正（案）、5）平成25年度事業計画（案）、6）平成25年度収支予算（案）、7）平成25～26年度会長・副会長の選任（案）、8）特別会員の推薦報告、9）農工大支援ネットワーク集団部会設置報告が諮られ承認された。10）その他 新旧会長の退任・新任の挨拶、新旧事務局長の退任・新任の挨拶があった。

#### 2. 平成25年度副会長懇談会の開催

平成25年11月9日（土）、府中キャンパスにて平成25年度副会長懇談会を開催した。懇談内容は、同窓会名簿の発行再開について、運営補助金の増額について他

#### 3. 同窓会組織の強化、活性化及び財務体質の健全化

部会・支部・職域組織の同窓会意識の向上と会員交流の促進を図る方策として「農工通信」の年2回発行を実施し、学外編集委員と共に内容の充実にも努めた。また、常務理事の部会・支部への派遣も引続き行った。入会金・賛助会費等の会費の90%を超える納付率の維持に努めた。更に歳出削減に努めるとともに、新財務システムの運用を導入した。

#### 4. 同窓会の現状と課題及び今後の対応

同窓会の改革、分収年の課題、海外支部設置等について、引き続き検討を行った。

#### 5. 集団部会の設置

「東京農工大学同窓会部会・支部等の設置、廃止及び活動費等に関する規程第2条第2項」に基づく集団部会の設置の増加について努めた。

#### 6. 同窓会正会員の総会構成員登録

「東京農工大学同窓会正会員の総会構成員登録規程第2条」に基づく総会構成員の登録の増加について努めた。

#### 7. ホームページの充実

平成24年度に開設した「会員交流広場」、「ギャラリー」等の活用及び充実について更に検討を重ねた。

#### 8. 同窓会PR活動の実施

同窓会紹介パンフレット（入学時及びペアレントリーにて配布）及びホームページによるPR活動に努めた。

#### 9. 会員の動静整理の継続実施

農工通信の未着信な会員について追跡の動静調査を行った。

#### 10. 一般財団法人 東京農工大学教育研究振興財団への協力

財団の事務に対する実質的支援を従来どおり継続して行った。

#### 11. 準会員に対する援助、新入正会員歓迎行事の継続実施

準会員（学生）の勉学・学生生活に関して、学会・コンテスト・コンクール等の発表・入賞祝い、優秀卒論副賞等の援助、学園祭・課外活動の援助、同窓会推薦キャリア・アドバイザー支援等の援助、並びに卒業・修了証書カバーの贈呈を継続して行った。

また、同窓会と東京農工大学と相互に同窓会情報を共有し、就職支援等の充実を図った。

#### 12. 会員の慶弔

祝電・弔電により祝意・弔意を表した。また、本会の発展に顕著な功績があった者に感謝状を贈呈した。

#### 13. その他

- 東京農工大学創基140周年・同窓会創立50周年記念事業検討委員会にて記念式典（9月19日開催予定）準備作業に携わった。
- 同窓会名簿発行再開の可否についてアンケートを実施した。
- 災害（山陰・北九州地方大雨被害/台風18号・26号被害/豪雪被害）に対するお見舞

【別記2】

平成25年度収支決算報告書（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

（単位：円）

No.	区分	細分	項目	(A) 平成25年度 予算額	(B) 平成25年度 決算額	(A) - (B) 増減	備考		
1	基本財産	収入	基本財産（前年度繰越金）	300,000,000	300,000,000	0			
2			余剰金からの繰入（30%を超える分）	0	0	0			
3			上記以外の余剰金からの繰入	0	0	0			
4			収入合計（1～3）	300,000,000	300,000,000	0			
5		支出	他の財産へ繰出	0	0	0			
6			支出合計（5）	0	0	0			
7			基本財産残高（4～6）	300,000,000	300,000,000	0			
8	運用財産	収入	前年度繰越金	16,257,311	16,257,311	0			
9			入会金	4,800,000	4,860,000	-60,000	5,000円×972名=4,860,000円		
10			年会費	1,300,000	1,308,000	-8,000	1,500円×872名=1,308,000円		
11			終身会費	2,100,000	3,315,000	-1,215,000	(完納) 30,000円×108名=3,240,000円 (分納) 15,000円×3=45,000円、10,000円×3=30,000円		
12			賛助会費	28,200,000	28,600,000	-400,000	30,000円×952名=28,560,000円 留学生10,000円×4=40,000円		
13			利息	2,000,000	1,816,331	183,669	国債1,786,940円、預金29,391円		
14			寄附金	0	76,000	-76,000	一般寄附9件		
15			雑収入	360,000	990,866	-630,866	農工通信広告料640,000円、国債購入差額345,866円 学生援助返付5,000円		
16			収入合計（8～15）	55,017,311	57,223,508	-2,206,197			
17			支出	動静調査等管理費	1,300,000	1,228,640	71,360	人件費	
18				会報発行費	9,700,000	10,027,967	-327,967	農工通信85号86号発行費、編集委員謝金6名、海外便送費	
19				HP管理作成費	500,000	155,325	344,675	新規、更新掲載量の減	
20				部会・支部活動費	4,500,000	4,137,950	362,050	活動費（43支部、16部会）、総会補助金（31支部、4部会） 祝金（25支部、3部会）	
21				母校援助費	4,600,000	4,999,935	-399,935	学会発表申請件数の増加	
22				新入正会員歓迎費	900,000	748,525	151,475	卒業証書カバー	
23				分収林管理費	100,000	46,990	53,010	分収林看板代及び境界管理アルバイト料	
24		資料整備費		300,000	182,122	117,878	新入生パンフレット		
25		事業費計（17～24）		21,900,000	21,527,454	372,546			
26		総会会議費		2,700,000	2,693,870	6,130	総会出席交通費（支部）、懇親会費		
27		副会長懇談会費		80,000	67,440	12,560	お弁当代		
28		常務理事会会議費		140,000	91,525	48,475			
29		会議費計（26～28）		2,920,000	2,852,835	67,165			
30		人件費		5,000,000	3,956,841	1,043,159			
31		労働保険料等		0	51,084	-51,084			
32		備品費		500,000	0	500,000			
33		消耗品費		1,270,000	1,193,119	76,881	会計ソフト導入、パソコン購入、トータルサービス料		
34		通信費		950,000	857,321	92,679	後納郵便料、振替手数料		
35		旅費		1,900,000	1,235,860	664,140	支部総会理事派遣交通費、派遣件数の減		
36		事務用品印刷費		60,000	52,290	7,710			
37		慶弔費		150,000	56,160	93,840	電報、香典		
38		光熱水費		120,000	71,888	48,112	9月分までの電気料金 ※10月以降は次年度支払（振込システムの変更のため）		
39		職員厚生費		1,864,773	1,100,800	763,973	退職金1名、人間ドック補助金2名		
40		その他雑費		300,000	169,764	130,236	損害保険料、入会金・賛助会費の返付		
41		管理費計（30～40）		12,114,773	8,745,127	3,369,646			
42		予備費		18,082,538	151,620	17,930,918	名簿発行アンケート印刷代		
43		支出合計（25+29+41+42）		55,017,311	33,277,036	21,740,275			
44		運用財産残高（16～43）		0	23,946,472	-23,946,472			
45		特定目的事業財産		収入	前年度繰越金	54,949,410	54,949,410	0	
46					余剰金からの繰入（30%を超える分）	4,398,674	4,398,674	0	
47					上記以外の余剰金からの繰入	0	0	0	
48					収入合計（45～47）	59,348,084	59,348,084	0	
49				支出	八王子分収林育成事業費	0	0	0	
50					周年記念事業費	0	0	0	
51			学生援助事業費		0	0	0		
52	被災会員支援事業費		0		0	0			
53	図書・名簿等刊行事業費		0		0	0			
54	その他本財産に適合する事業費		0		0	0			
55	支出合計（49～54）		0		0	0			
56	特定目的事業財産残高（48～55）		59,348,084		59,348,084	0			
57	合計（7+44+56）	359,348,084	383,294,556	-23,946,472					
58	特定資産	八王子分収林育成林木	32,877,400	32,877,400	0				
59	総合計（57+58）	392,225,484	416,171,956	-23,946,472					

【別記3】

同窓会会則の一部改正

改正前	改正後	
<p><b>第4章 役員・代議員及び事務局職員</b></p> <p>（役員等の職務） 第13条 会長は、本会を代表し、会務を統括し、総会の議長となる。 2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときは、その職務を行う。 3 理事長は、理事会及び常務理事会の議長となり会務を処理する。副理事長は理事長を補佐し、理事長に事故あるときはその職務を行う。 4 理事は理事会を、常務理事は常務理事会を構成し、この会則の定め及び総会又は理事会又は常務理事会の議決に基づき、それぞれの会務の運営、事業の執行にあたる。 5 監事は、次に掲げる職務を行う。 一 理事及び常務理事の業務執行状況を監査すること 二 本会の財産状況を監査すること 三 前二号の監査の結果、本会の業務又は財産に関し不正の行為又は法令若しくは会則に違反する重大な事実があることを発見した場合は、これを総会に報告すること 四 前号の報告をするために必要がある場合は、総会を招集すること 五 理事及び常務理事の業務執行状況又は本会の財産状況について、理事及び常務理事に意見を述べ、もしくは理事会及び常務理事会の招集を請求すること</p>	<p><b>第4章 役員等・代議員及び事務局職員</b></p> <p>（役員等の職務） 第13条 会長は、本会を代表し、会務を統括し、総会の議長となる。 2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときは、その職務を行う。 3 理事長は、理事会及び常務理事会の議長となり会務を処理する。副理事長は理事長を補佐し、理事長に事故あるときはその職務を行う。 4 理事は理事会を、常務理事は常務理事会を構成し、この会則の定め及び総会又は理事会又は常務理事会の議決に基づき、それぞれの会務の運営、事業の執行にあたる。 5 監事は、次に掲げる職務を行う。 一 理事及び常務理事の業務執行状況を監査すること 二 本会の財産状況を監査すること 三 前二号の監査の結果、本会の業務又は財産に関し不正の行為又は法令若しくは会則に違反する重大な事実があることを発見した場合は、これを総会に報告すること 四 前号の報告をするために必要がある場合は、総会を招集すること 五 理事及び常務理事の業務執行状況又は本会の財産状況について、理事及び常務理事に意見を述べ、もしくは理事会及び常務理事会の招集を請求すること 6 名誉会長、名誉顧問、顧問は、会長等の役員との相談に応じると共に、総会から諮問された事項等について、参考意見を述べる。</p>	<p>名誉会長・名誉顧問・顧問を含むため、等を挿入</p> <p>名誉会長・名誉顧問・顧問の職務を挿入</p>

改正前	改正後	
<p>(役員等の解任)</p> <p>第15条 役員が次の各号の一に該当する場合には、理事会の議を経て、総会の議決により、これを解任することができる。</p> <p>一 疾病、事故その他の事由により、職務執行に堪えないと認められるとき</p> <p>二 職務上の義務違反その他役員としてふさわしくない行為があったとき</p> <p>2 前項の規定により役員を解任しようとする場合は、議決の前に当該役員に弁明の機会を与えなければならない。</p>	<p>(役員等の解任及び資格喪失)</p> <p>第15条 役員が次の各号の一に該当する場合には、理事会の議を経て、総会の議決により、これを解任することができる。</p> <p>一 疾病、事故その他の事由により、職務執行に堪えないと認められるとき</p> <p>二 職務上義務違反その他役員としてふさわしくない行為があったとき</p> <p>2 前項の規定により役員を解任しようとする場合は、議決の前に当該役員に弁明の機会を与えなければならない。</p> <p>3 顧問が死亡又は失踪宣告を受けた時、並びに疾病等により職務に堪えられない場合は、総会の議決により顧問の資格は喪失する。</p>	顧問の資格喪失の条項を挿入
<p>(報酬及び旅費)</p> <p>第20条 本会の役員及び代議員の報酬は無給とする。</p> <p>2 本会の役員、代議員、支部長及び事務局職員の事業活動に要する交通費等の経費は支給することとし、旅費及び交通費に関して必要な事項は、別に定める。</p>	<p>(報酬及び旅費)</p> <p>第20条 本会の役員、名誉会長、名誉顧問、顧問、代議員及び支部長の報酬は無給とする。</p> <p>2 本会の役員、名誉会長、名誉顧問、顧問、代議員、支部長及び事務局職員の事業活動に要する交通費等の経費は支給することとし、旅費及び交通費に関して必要な事項は、別に定める。</p>	名誉会長・名誉顧問・顧問と支部長を挿入
<p>(事務局職員)</p> <p>第21条 本会の事務を処理するため、事務局を置く。</p> <p>2 事務局には事務局長を置き、必要に応じて非常勤職員を置くことが出来る。</p> <p>3 事務局長及び非常勤職員は会長が任免する。</p> <p>4 事務局職員の就業に関して必要な事項は、別に定める。</p>	<p>(事務局職員)</p> <p>第21条 本会の事務を処理するため、事務局を置く。</p> <p>2 事務局には事務局長を置き、必要に応じて一般常勤職員及び非常勤職員を置くことが出来る。</p> <p>3 事務局職員は会長が任免する。</p> <p>4 事務局職員の就業に関して必要な事項は、別に定める。</p>	事務局職員の勤務態様を勘案して、一般常勤職員を挿入した。

附 則

この会則の一部改正は、平成26年5月24日から施行する。

【別記4】

平成26年度事業計画

1. 第51回理事会・通常総会の開催

平成26年5月24日(土)小金井キャンパスにて第51回理事会・通常総会を開催する。議事内容は、1)平成25年度事業報告(案)、2)平成25年度収支決算報告(案)、3)平成25年度監査報告、4)同窓会会則の一部改正(案)、5)平成26年度事業計画(案)、6)平成26年度収支予算(案)、7)平成26・27年度理事・代議員の選任(案)、8)平成26・27年度 理事長・副理事長・常務理事の指名報告、9)平成26・27年度 監事の選出(案)、10)名誉会長・顧問の推挙(案)、11)特別会員の推薦報告、12)同窓会会員名簿の発行再開について、13)その他新旧理事長の退任・新任の挨拶。

2. 平成26年度副会長懇談会の開催

平成26年11月8日(土)、府中キャンパスにて平成26年度副会長懇談会を開催する。

3. 同窓会組織の強化、活性化及び財務体質の健全化

部会・支部・職域組織の同窓会意識の向上と会員交流の促進を図る方策として「農工通信」の年2回発行を継続し、学外編集委員と共に内容の充実に努める。また、常務理事の部会・支部への派遣も引き続き行う。入会金・賛助会費等の会費の90%を超える納付率の維持に努める。更に歳出削減に努める。

4. 同窓会の現状と課題及び今後の対応

同窓会の改革、分収林の課題、海外支部設置等について、引き続き検討を行う。

5. 集団部会の設置

「東京農工大学同窓会部会・支部等の設置、廃止及び活動費等に関する規程第2条第2項」に基づく集団部会の設置の増加について努める。

6. 同窓会正会員の総会構成員登録

「東京農工大学同窓会正会員の総会構成員登録規程第2条」に基づく総会構成員の登録の増加について努める。

7. ホームページの充実

平成24年度に開設した「会員交流広場」、「ギャラリー」等の活用及び充実について更に検討を重ねる。

8. 同窓会PR活動の実施

同窓会紹介パンフレット(入学時及びベアレンツデーにて配布)及びホームページによるPR活動に努める

9. 会員の動静整理の継続実施

農工通信の未着信な会員について追跡の動静調査を行う。

10. 一般財団法人 東京農工大学教育研究振興財団への協力

財団の事務に対する実質的支援を従来どおり継続して行う。

11. 準会員に対する援助、新入正会員歓迎行事の継続実施

準会員(学生)の勉学・学生生活に関して、学会・コンテスト・コンクール等の発表・入賞祝い、優秀卒論副賞等の援助、学園祭・課外活動の援助、同窓会推薦キャリア・アドバイザー支援等の援助、講演会の実施、並びに卒業・修了証書カバーの贈呈を行う。

また、同窓会と東京農工大学と相互に同窓会情報を共有し、就職支援等の充実を図る。

12. 会員の慶弔

祝電・弔電により祝意・弔意を表す。また、本会の発展に顕著な功績があった者に感謝状を贈呈する。

13. その他

・東京農工大学創基140周年記念式典(9月19日開催予定)の準備作業に協力する。  
・同窓会名簿発行再開の可否について検討を重ねる。

【別記5】

平成26年度収支予算

(単位:円)

No	区分	細分	項目	平成26年度 予算額①	平成25年度 予算額②	差 異 ①-②	摘 要	
1	基本財産	収入	基本財産(前年度繰越金 6)	300,000,000	300,000,000	0		
2			余剰金からの繰入れ(30%を超える分)	6,779,420	0	6,779,420		
3			上記以外の余剰金からの繰入	13,220,580	0	13,220,580		
4			収入合計(1+2+3)	320,000,000	300,000,000	20,000,000		
5		支出	他の財産へ繰出し	0	0	0		
6			支出合計(5)	0	0	0		
7			基本財産残高(4-6)→次年度繰越金	320,000,000	300,000,000	20,000,000		
8	運用財産	収入	前年度繰越金	3,946,472	16,257,311	-12,310,839	余剰金:23,946,472円 基本財産繰入金(30%を超える分): 23,946,472円-57,223,508円(平成25年度収入)×0.3(30%) =6,779,420円 上記以外の基本財産繰入金:13,220,580円 前年度繰越金:23,946,472円-6,779,420円-13,220,580円=3,946,472円	
9			入会金	4,800,000	4,800,000	0	過去3年間の収入実績の平均相当額(4,796,667円)を勘案	
10			年会費	1,300,000	1,300,000	0	過去3年間の収入実績の平均相当額(1,329,500円)を勘案	
11			終身会費	2,700,000	2,100,000	600,000	過去3年間の収入実績の平均相当額(2,733,333円)を勘案	
12			賛助会費	28,100,000	28,200,000	-100,000	過去3年間の収入実績の平均相当額(28,103,333円)を勘案	
13			利息	1,900,000	2,000,000	-100,000	過去3年間の収入実績の平均相当額(1,924,196円)を勘案	
14			寄附金	0	0	0		
15			雑収入	300,000	360,000	-60,000	農工通信広告料の単価減を考慮	
16		収入合計(8~15の計)	43,046,472	55,017,311	-11,970,839			
17		支出	産	動静調査費	500,000	1,300,000	-800,000	本来人件費で計上すべき分を人件費項目へ。動静調査はがき印刷料14万円、目隠しシール20万円、後納郵便料16万円を計上
18				会報発行費	11,000,000	9,700,000	1,300,000	前年度決算額(10,027,267円)+消費税増額分
19				HP管理作成費	200,000	500,000	-300,000	前年度決算額(155,325円)+消費税増額分
20				部会・支部活動費	6,500,000	4,500,000	2,000,000	部会・支部活動費1万円、部会総会・支部総会運営費1万円及び総会祝金1万円の増額による増
21				母校援助費	5,200,000	4,600,000	600,000	前年度決算額(4,999,935円)+増加見込額(20万円)
22				新入正会員歓迎費	800,000	900,000	-100,000	前年度決算額(748,525円)+消費税増額分
23				分収林管理費	50,000	100,000	-50,000	前年度決算額(46,990円)+消費税増額分
24	資料整備費			200,000	300,000	-100,000	前年度決算額(182,122円)+消費税増額分	
25	事業費計(17~24の計)			24,450,000	21,900,000	2,550,000		

No	区分	細分	項目	平成26年度 予算額①	平成25年度 予算額②	差異 ①-②	摘要	
26	運 用 財 産	支 出	総会会議費	2,800,000	2,700,000	100,000	前年度決算額 (2,693,870円) + 消費税増額分	
27			副会長懇談会費	70,000	80,000	-10,000	前年度決算額 (67,440円) + 消費税増額分	
28			常務理事会会議費	160,000	140,000	20,000	前年度決算額 (91,525円) + 消費税増額分 + 新旧引継ぎ経費	
29			会議費計 (26~28の計)	3,030,000	2,920,000	110,000		
30			人件費	5,800,000	5,000,000	800,000	動静調査費計上分の適正化及び社会保険料の適用項目適正化による増。	
31			社会保険料等	300,000	0	300,000	社会保険料等を予算として計上	
32			備品費	500,000	500,000	0	前年度データベースコンピューター購入の繰り延べ分含む	
33			消耗品費	1,000,000	1,270,000	-270,000	本年度見込額	
34			通信費	950,000	950,000	0	前年度決算額 (857,321円) + 消費税増額分 + 増額見込額	
35			旅費	2,000,000	1,900,000	100,000	前年度予算額 + 消費税増額分	
36			事務用品印刷費	60,000	60,000	0	前年度決算額 (52,290円) + 消費税増額分	
37			慶弔費	150,000	150,000	0	前年度予算額と同額	
38			光熱水費	150,000	120,000	30,000	本年度見込額	
39			職員厚生費	300,000	1,864,773	-1,564,773	退職金、人間ドック等	
40	その他雑費	310,000	300,000	10,000	前年度予算額 + 消費税増額分			
41	管理費計 (30~40の計)	11,520,000	12,114,773	-594,773				
42	予備費	4,046,472	18,082,538	-14,036,066				
43	支出合計 (25+29+41+42)	43,046,472	55,017,311	-11,970,839				
44	運用財産残高 (16-43) → 次年度繰越金	0	0	0				
45	特 定 目 的 事 業 財 産	収 入	前年度繰越金	59,348,084	54,949,410	4,398,674		
46			余剰金からの繰入 (30%を超える分)	0	4,398,674	-4,398,674		
47			上記以外の余剰金からの繰入	0	0	0		
48			収入合計 (45+46+47)	59,348,084	59,348,084	0		
49			支 出	八王子分収林育成事業支出	0	0	0	
50				周年記念事業支出	0	0	0	
51				学生援助事業支出	0	0	0	
52				被災会員支援事業支出	0	0	0	
53				図書・名簿等刊行事業支出	0	0	0	
54				その他本財産に適合する事業支出	0	0	0	
55	支出合計 (49~54の計)	0	0	0				
56	特定目的事業財産残高 (48-55) → 次年度繰越金	59,348,084	59,348,084	0				
57	合計 (7+44+56)	379,348,084	359,348,084	20,000,000				
58	特定資産	八王子分収林育成林木	32,877,400	32,877,400	0	平成15年8月評価		
59	総合計 (57+58)		412,225,484	392,225,484	20,000,000			

【別記6】

部会推薦理事及び代議員

推薦母体	部会推薦理事 (64名)	部会推薦代議員 (41名)
農学・生物生産学部	中原純一 (農S37)、早川潔 (農S41)、鈴木創三 (農S47)、荒木俊光 (農S55)、箕田豊高 (農H5)	南波利昭 (農S46)、松村昭治 (農S47)、生井澤初枝 (農H5)
蚕糸生物学部	鱒木理 (養蚕S37)、仲昭年 (蚕糸S52)、田村宣浩 (蚕糸H1)	大澤慶幸 (蚕糸S54)、笈文平 (蚕糸S55)
植防・応用生物学部	米山勝美 (植防S41)、重野武夫 (植防S43)、國見裕久 (養蚕S48)	山元大輔 (植防S51)、片岡淳 (植防S53)
農芸化学・応用生命化学部	大島誠之助 (農化S43)、船橋幸資 (農化S45)、千葉一裕 (農化S56)	柿内久弥 (農化S54)、増田隆 (農化S55)
林産・生物資源工学部	富永洋司 (林産S40)、船田良 (林産S58)、近江正陽 (林産S60)	木口実 (林産S57)、安藤恵介 (林産H2)
環境科学部	星野義延 (環保S53)、伊豆田猛 (環保S59)、多羅尾光徳 (環保H3)	渡邊誠 (環資H11)、水川薫子 (環資H18)
林学部	一鳥正三 (林S45)、片岡辰幸 (林S49)、渡辺直明 (林S51)	峰松浩彦 (林S42)、塚原道夫 (林S51)
生産環境工学部	渡辺彰 (農工S43)、島田清 (農工S48)、田島淳 (農工S56)	川田明宏 (農工S51)、帖佐直 (農工H4)
地域生態システム学部	山口泰民 (地生H12)、小池伸介 (地生H13)、大和知朗 (地生H16)	五十嵐香介 (地生H15)、大場健太郎 (地生H17)
獣医学部	津曲公夫 (獣医S43)、大原英治 (獣医S44)、佐々木一昭 (獣医H4)	岡本道生 (獣医S40)、木島まゆみ (獣医S58)
製糸・高分子・生命工学部	長谷川茂 (製糸S29)、草間健一 (製糸S43)、小野健一 (製糸S44)、成田英次 (製糸S45)、三木茂 (製糸S46)	近藤幹也 (製糸S58)、秋山大二郎 (製糸S58)、新垣篤史 (物生H9)
繊維・有機材料部	高井英雄 (織工S31)、岩島寛 (織工S33)、壁久久良 (織工S35)	窪田一郎 (織高S46)、原島朝雄 (織高S49)
化学工学部	高野文夫 (化工S51)、加藤之貴 (化工S60)、滝山博志 (化工S62)	板垣和雄 (化工S48)、柴垣由城 (化工S52)
応用分子化学部	増澤政男 (織化S31)、清水康次 (織化S32)、伊野野耕二 (工化S39)、長谷川禎告 (工化S40)、平野正雄 (工化S48)	早川幸男 (織化S23)、笠井利彦 (織化S33)、豊秀磨 (工化S39)
機械システム工学部	近江喜一 (機械S38)、新井正彰 (機械S42)、小島和夫 (機械S49)、堀三計 (機械S52)、武藤篤正 (機械H1)	今成昌文 (機械S57)、伊藤幸弘 (機シS14)、山本将之 (工博H14)
電気電子工学部	飯村靖文 (電子S56)、竹村淳 (電子H3)	有馬卓司 (電情H10)
応用物理学部	上田守正 (応物S52)、本橋健次 (応物H1)	堀啓一郎 (応物S52)、別府健司 (応物S57)
情報工学部	加藤直樹 (電情H5)、朱碧蘭 (情コミH15)、古宮嘉那子 (情コミH17)	楊一平 (情コミ院H16)、李傑英 (情コミ院H17)
MOT部	木下泰宏 (MOT H19)、武井遼 (MOT H21)	野地英昭 (MOT H20)
BASE部	根岸大助 (生シ院 H15)、関根正彦 (生シ院 H21)	長田光洋 (生シ院 H17)

理事会推薦理事 (15名)

淵野雄二郎 (農S43)、亀山 秀雄 (化工S48)、馬場真知子 (林学院S51)、大里 耕司 (農工S52)、渡辺 元 (獣医S54)、千年 篤 (農S58)、野村 義宏 (農化S59)、渡邊 敏行 (材科S61)、齊藤美佳子 (工化H1)、野口 恵一 (材料H1)、夏 恒 (機シ工博H7)、富永 洋一 (物生H7)、赤井 伸行 (環資H11)、西澤 宇一 (機シS12)、ボンサトーン・ラクシンチャーンサク (機シ院H14)

支部推薦代議員 (48名)

北海道	宇野澤正美 (農工S46)	東京	山本 賢 (農工S43)	大阪	阿部 修 (林 S54)	徳島	小杉純一郎 (林 S63)
青森	山館 昭夫 (林 S52)	神奈川	石井 洋三 (林 S56)	京都	西村 寿 (農工S50)	高知	豊田 陽一 (製糸S57)
秋田	外谷 雅広 (農工S61)	新潟	小池上 護 (機械S52)	滋賀	森井 源藏 (農工S50)	愛媛	鈴木 東義 (工化S39)
岩手	山田 互 (農 S52)	富山	林 繁利 (工化S39)	奈良	山本 治幸 (電気S54)	福岡	白石 哲広 (林産S50)
山形	伊藤 澄夫 (製糸S46)	石川	西山 宏 (環・資H6)	和歌山	中村 純子 (環・資H6)	佐賀	大島 一里 (植防S57)
宮城	菅野 昭 (環保S53)	福井	野坂 雄二 (農工S53)	兵庫	安齊 文夫 (林産S45)	長崎	古賀 淳士 (農 S52)
福島	小島 重紀 (農工S55)	山梨	有賀善太郎 (農工S51)	岡山	佐藤 和久 (農 S54)	熊本	安尾 博徳 (農工S49)
茨城	鹿熊 俊明 (獣医S34)	長野	吉田 宮雄 (獣医S47)	広島	三宅 信行 (環保S55)	大分	近乗 偉夫 (農 S58)
栃木	牧 佳輝 (獣医S41)	岐阜	安田 勝年 (製糸S42)	山口	上橋 崇志 (応化H13)	宮崎	井上 勝弘 (林 S35)
群馬	山本 明 (農工S45)	静岡	殿岡 修 (機械S39)	鳥取	門脇 互 (製糸S54)	鹿児島	平 繁人 (養蚕S45)
埼玉	安井 敏晃 (林 S52)	愛知	瀧上 紀吉 (機械S41)	島根	松浦 史瑞 (林産H1)	沖縄	花城 薫 (林産H3)
千葉	内田 律夫 (養蚕S47)	三重	西野 実 (農 H7)	香川	小副川 徹 (農工S42)	横浜	山川 敏明 (製糸S41)

# 同窓会役員等体制と支部長 及び 連絡員表

## 同窓会役員等体制

### 会 長 (平成25・26年度)

草野 洋一 (養蚕S47)

### 副 会 長 (平成25・26年度)

板橋 久雄 (農 S39)	安藤 俊幸 (養蚕 S49)	佐藤 令一 (植防 S54)	蓮見 恵司 (農化院 S57)
福田 清春 (林産 S44)	楊 宗興 (環保 S54)	本山 芳裕 (林 S48)	加藤 誠 (農工 S44)
本間 秀和 (地生 H12)	田谷 一善 (獣医 S46)	羽田 有輝 (製糸 S43)	千田 武 (織高 S46)
木村 雅俊 (化工 S48)	遠藤 幸一 (工化 S46)	澤田 孚夫 (機械 S40)	宇野 亨 (電気 S55)
安田 義道 (応物 S47)	近藤 聡 (情コミ H18)	加藤 美治 (MOTH21)	齋藤 隆 (生シ院 H11)

### 常務理事 (平成26・27年度)

理事長 鈴木 創三 (農 S47)	事業部長 渡辺 元 (獣医 S54)
副理事長 滝山 博志 (化工 S62)	〃 淵野雄二郎 (農 S43) 海外支部担当
総務部長 大里 耕司 (農工 S52)	副部長 渡邊 敏行 (材料 S61) 企画担当
副部長 千年 篤 (農 S58) 総会担当	〃 ポンサトーン・ラクシンチャラーンサク (機シス院 H14) 〃
〃 野村 義宏 (農化 S59) 支部担当	〃 渡辺 直明 (林 S51) 分収林担当
〃 斎藤美佳子 (工化 H1) 会務担当	広報・情報部長 亀山 秀雄 (化工 S48)
経理部長 多羅尾光徳 (環保 H3)	副部長 夏 恒 (機シス工博 H7) Facebook 担当
副部長 西澤 宇一 (機シス H12)	〃 近江 正陽 (林産 S60) 〃
	〃 野口 恵一 (材料 H1) HP 担当
	〃 赤井 伸行 (環資 H11) 〃
	〃 馬場真知子 (林学院 S51) 会報担当
	〃 富永 洋一 (物生 H7) 〃

### 監 事 (平成26・27年度)

生原喜久雄 (林 S41) 竹内 道雄 (農化院 S50) 金子 由実 (織高 S51)

### 事務局長 池谷 紀夫 (農 S49)

## 同窓会支部長及び連絡員 (平成26年6月末日現在)

支部名	支部長名	連絡員名	支部名	支部長名	連絡員名
北海道	長谷川周一 (農工 S46)	宇野澤正美 (農工 S46)	大 阪	佐々木良和 (農工 S39)	乗藤 幹男 (電子 H1)
青 森	野村 昌志 (農工 S39)	大橋 統州 (農 S54)	京 都	植村左千夫 (林 S20)	西村 寿 (農工 S50)
秋 田	野村 俊悦 (農 S44)	吉田 育男 (植防 H4)	滋 賀	勝田 謙次 (織化 S34)	南井 隆 (林 H1)
岩 手	東野 正 (林産 S50)	谷内 博規 (林産 H5)	奈 良	太田 道明 (農工 S42)	望月 昇 (化工 S57)
山 形	河野 読 (獣医 S45)	川崎 聡明 (生産 H9)	和歌山	毛呂 眞 (林 S41)	中村 純子 (環資 H6)
宮 城	田畑 正紀 (林 S55)	大類 清和 (林 H2)	兵 庫	橋田 勝明 (獣医 S46)	安徳 剛志 (林 S59)
福 島	生沼 俊夫 (養蚕 S35)	三森 裕 (生産 H13)	岡 山	内藤 照章 (獣医 S34)	佐藤 和久 (農 S54)
茨 城	川村 重信 (養蚕 S40)	藍原 伸夫 (蚕糸 S59)	広 島	藤本 修身 (農化 S44)	三宅 信行 (環保 S55)
栃 木	村松梅太郎 (獣医 S39)	南木 好樹 (農工 S58)	山 口	赤木 道博 (獣医 S49)	岡本 賢一 (植防 H4)
群 馬	小野宇三郎 (織別 S33)	唐澤 道央 (生産 H7)	鳥 取		小林 壽 (製糸 S24)
埼 玉	池田哲二郎 (農 S43)	稲場 康仁 (農工 S61)	鳥 根	中尾 清治 (農工 S34)	松浦 史瑞 (林産 H1)
千 葉	中村 圭一 (林 S39)	津金 胤昭 (応生 H6)	香 川	岡崎 進 (獣医 S38)	河野 幸彦 (林 S63)
東 京	馬場 信行 (林 S35)	山本 賢 (農工 S43)	徳 島	長谷川 進 (工化 S47)	小杉純一郎 (林 S63)
神奈川	則武 宏一 (農工 S41)	笠木 一行 (農工 S62)	高 知	寺峰 孜 (養蚕 S45)	豊田 陽一 (蚕糸 S57)
新 潟	佐藤 修 (農工 S40)	高橋 紀男 (農工 S60)	愛 媛	門屋 一臣 (農 S33)	白石 郁朗 (農 S46)
富 山	青木 誠 (農 S37)	串田 泰彦 (農 S62)	福 岡	西田 晴二 (獣医 S41)	白石 哲広 (林産 S50)
石 川	北川 康一 (農工 S46)	西山 宏 (環資 H6)	佐 賀	御厨 秀樹 (植防 S56) (代行)	御厨 秀樹 (植防 S56)
福 井	友田 慶一 (織工 S42)	新海 隆介 (環資 H12)	長 崎	片岡 正登 (製糸 S48)	古賀 淳士 (農 S52)
山 梨	石川 昇 (農 S37)	中井 薫 (農工 S60)	熊 本	小邦 徹 (林 S41)	小野亮太郎 (農 S63)
長 野	鮎澤 光昭 (養蚕 S42)	城取 和茂 (農工 H3)	大 分	吉長 倫仁 (養蚕 S45)	古長 茂亜 (林産 S63)
岐 阜	安田 勝年 (製糸 S42)	雨宮 功治 (植防 S60)	宮 崎	小崎 宏 (農 S45)	松山 隆二 (林産 H5)
静 岡	栗原 續 (農工 S42)	五十嵐香介 (地生 H15)	鹿児島	上原 武志 (植防 S42)	平 繁人 (養蚕 S45)
愛 知	上井 和彦 (農 S33)	水野銈一郎 (農 S42)	沖 縄	城間 恒紀 (農化 S42)	河口 哲也 (応生 H6)
三 重	古野 優 (獣医 S60)	西野 実 (農 H7)	横濱会	松島 稔 (製糸 S37)	加藤裕二郎 (製糸 S44)

# 叙勲受章にあたり

## 叙勲拝受にあたり

藤森 明彦 (工化S42)

平成26年5月13日、日本ポリエチレン製品工業連合会会長として旭日小授章を拝受いたしました。大変光栄に存じると同時に、平成17年に藍綬褒章を拝受してから約10年、その間、どれだけ業界のためにお役にたてたのか？心もとない気も致します。

私が日本ポリエチレン製品工業連合会の会長に推されたのが平成5年でした。

それまでの「大量生産、大量消費、大量廃棄」によって発展してきた経済システムも、環境、資源等の観点から大幅な見直しが議論され始めており、平成7年には「容器包装リサイクル法」が制定されるに至りました。

容器包装リサイクル法は消費者による分別排出、市町村による分別収集、それに製造事業者による再商品化の3本の柱から成り立っています。最後の再資源化という点で瓶、缶、ペットボトルなどの再商品化しやすいものだけを対象に平成9年に一部施行されましたが、紙製容器包装やプラスチック容器包装は再商品化に関して多くの議論が必要とされ、結局完全施行されるまでにはさらに3年の月日を要しました。日本ポリエチレン製品工業連合会、わけてもその傘下のポリエチレンラミネート製品工業会の会員企業の多くは紙製容器包装やプラスチック容器包装の製造を主たる事業としており、会員企業より専門委員を出して関連工業団体や経済産業省、環境省、農林水産省などと数多くの協議を重ねた結果が平成12年の完全施行に繋がったと理解しております。

資源の有効活用という観点からリサイクルは一つの側面ではありますが、リデュース、リユースということも考えなければいけないということで、平成13年には資源有効利用促進法が施工されました。3R (リデュース、リユース、リサイクル) に配

慮した製品設計と製造は、まさに我々日本ポリエチレン製品工業連合会の会員各社の腕の見せ所ということで切磋琢磨しながら取り組んでいるところです。

容器包装リサイクル法に続き、家電リサイクル法、食品リサイクル法、建設リサイクル法、自動車リサイクル法、それにごく最近では小型家電リサイクル法などが次々と施行されております。それらの先駆けとしてスタートした容器包装リサイクル法の施行、運用の一部に日本ポリエチレン製品工業連合会の一員として参加できたこと、そしてそれが今回の叙勲に繋がったとすれば大変ありがたいことだと感謝しております。

循環社会の実現にはこれらリサイクル法以前の問題として東京農工大学が農工融合領域の課題として取り組んでいただきたい課題が数多くあると感じております。

東京農工大学の皆様の益々のご活躍を期待して筆をおきます。

日本ポリエチレン製品工業連合会 会長  
藤森工業株式会社 代表取締役会長  
昭和42年工学部工業化学科卒



## 『叙勲の栄誉によくして』

井草 五郎 (林S32)

私事で大変恐縮ですが、平成25年秋の叙勲において、「瑞宝双光章」を授与されました。

平成25年10月11日付で、「多年にわたる地方自治関係の功績に対し、『瑞宝双光章』が授与される」旨、知事公室より文書による連絡があり、11月5日、静岡県庁において、県知事より勲記・勲章の伝達を受けました。つづいて12日には、東京事務所のお世話で、他の受賞者共々皇居に参内し、「春秋の間」において、天皇陛下に拝謁する栄誉を賜りました。これも、恩師をはじめ、同窓の諸先輩、職場の上司・同僚の方々のご指導の賜と感謝しております。

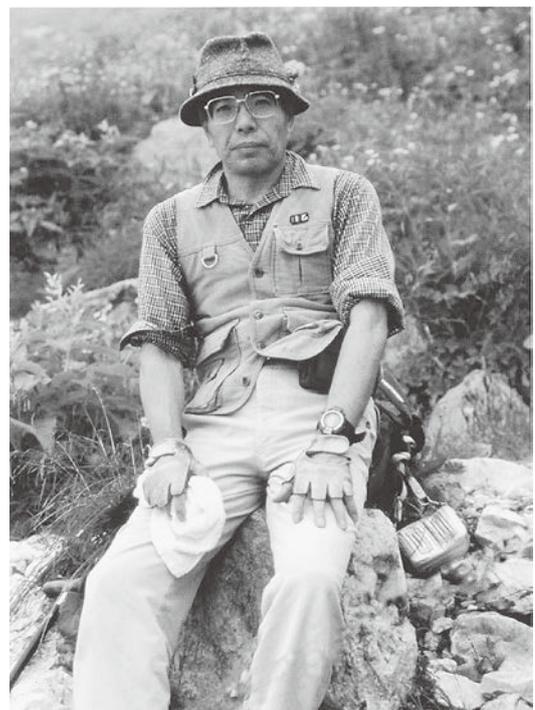
顧みますと、昭和32年に農学部林学科卒業と同時に、静岡県林務部治山課に奉職して以来、自然保護課緑化係長、造林課森林保護係長、林業試験場長、林政課長、北遠振興センター所長兼北遠農林事務所長、静岡県中小企業振興公社常務理事（出向）などを歴任し、平成8年に退職するまで、39年の間、文字通り大過なく地方行政一筋に勤めさせて頂くことが出来ました。

退職後は、かねてよりの念願だった、バイクによる日本一周を実行に移すことにしました。“行ったことのない場所に行って、見たことのないものを見て、知らなかった世界を体験する”そうすることで、なにか40年の役所勤めのしがらみから解放され、次の新しい人生に踏み出すことができるような気がしたのです。当初は、思い出のあるヨーロッパを走ろうかと考えていたのですが、語学力や交通法規の異なる地域での走行に不安もあり、国内で妥協しました。そこで、せめてバイクだけでもと、ドイツ製の大型バイク（中古ですが）を購入し、平成8年9

月の能登半島一周（三泊四日）を皮切りに、毎年一ブロックずつ、四国一周（五泊六日）、北海道2回（八泊九日；五泊六日）、九州一周（七泊八日）、東北（六泊七日）、山陰山陽（五泊六日）、紀伊半島・奈良（三泊四日）など、礼文島以外、離島は走っておりませんが、9年にわたり、城址、五重塔（三重塔）、滝、石仏など、各地の名勝旧跡などを巡りながら、およそ1万3千キロを無事故・無違反で（自分でコケたことはありませんが）走りきりました。

最近では、ずっと続けてきた、年1、2回の山登りを楽しむとともに、125cc級の小型バイクに乗換え、静岡県をはじめ、長野県、山梨県など近県の「道祖神像」を訪ねて、写真に収めております。今年、誕生日を迎えますと傘寿（満80歳）ということになりますが、身体の動く間は、せめて県内の道祖神だけでも、すべて写真に収めたいものと頑張っております。

（前 静岡県支部副会長）



## 『生きた学部名』

小野 宇三郎 (織別S33)

平成25年春の叙勲において瑞宝小授章を拝受する栄に浴し、来し方を振り返り感激を新たにいたしました。

私は群馬県の中山間地では平均的な養蚕、米麦を中心とした、いわゆる一町百姓の長男として生まれ、当時の風潮として農家を継ぐのを当然として考え、最終の勉学の場として東京農工大学へ進むことにしました。家庭の事情で4年間の勉学は困難であったため「繊維学部繊維学別科(養蚕専修)」へ入り、昭和33年に修了しました。

帰郷後、普及し始めた小型耕運機をいち早く導入するなどして農業に従事していましたが、当時は農地の流動はほとんど無く、規模拡大は困難な状況にあったので、先を見越して農業は父母に任せて、サラリーマンに転身することにしました。

昭和30年代半ば、奇跡的と言われた高度経済成長期の真只中、様々な分野で技術者不足の状況にあり、民間企業ばかりでなく、国の機関でも技術者の確保は大きな課題でした。そこで、当時の通商産業省から輸出織物の検査官になってほしいとの誘いがあり、私としては「専門は養蚕で、織物は全くわからないから」と、一旦はお断りしましたが、繊維学部出身なら大丈夫との強い要請を受け、通商産業省桐生繊維製品検査所に技官として勤務することになりました。勤務の当初は果たせるかな、羽二重、紋朱子、ジャカード機など初耳のことばかりで苦勞しましたが、繊維学部出身という名の故に、請われて就職できたことに、学部名の有難さを痛切に感じました。

検査所に3年ほど無事勤務した後、国家公務員採用上級試験(行政)に合格することが出来、数省庁から誘いを受けましたが、農家を継ぐ都

合から通勤可能な群馬県への出向の道を選ぶことにしました。

群馬県に入庁し、当初の約8年間は農政部で農地関係、農政企画、農協指導等の業務を担当しましたが、大学で学んだ蚕糸部門の仕事には携われませんでした。そして、企画部に転じ、県の将来ビジョンである総合計画の策定や、本格的な高速交通時代を迎え、関越自動車道、上信越自動車道、上越新幹線、北陸新幹線、ヘリポートなど県土整備の骨格を形成する諸事業の建設推進に約20年の長きにわたり携わり、企画部長を最後に定年退職いたしました。

退職後は、埋蔵文化財調査事業団の理事長として東国文化の拠点である群馬県の発掘調査研究の一端を担えたのも良い思い出でした。

内地米、外米、麦の混合飯で1日3食80円の食費で過ごした西ヶ原寮での生活は、忘れることのできない楽しい青春の1ページでした。現在、小金井キャンパスは繊維学部から工学部へと変じ、正に農工大学の名にふさわしい高い評価の大学に成長しており、喜ばしいかぎりです。伝統と誇りを持つ母校の益々の発展を願ってやみません。



# 退職にあたり

農学研究院教授 加茂前 秀夫

学生の時や先の職場に勤務していた時に東京農工大学の府中キャンパスには学会などで数回訪れたことがあり、正門からの櫓の茂る道の向こうに佇む農学部本館を見て農工大学の歴史と武蔵野を感じていました。その大学に平成6年度から農学部獣医学科の教員として20年間勤務させていただきました。先輩、同僚、事務職、技術職の皆様のご支援、ご協力をいただき、大過なく勤めさせていただけたことに心から感謝申し上げます。将来性豊かな優秀な学生諸君に専門知識と技術を教授し、卒業研究を共同して進められたことは楽しく遣り甲斐のあるものでした。彼らの今後の活躍を期待しています。

この間、東京農工大学に獣医学部を設けて三学部となった方が大学教育の充実・発展に繋がるとの考えを一貫して持ち続けてきました。また、府中キャンパス南側の美術館通り整備・拡幅の時期に、民間資金を導入して動物病院の増築が進められましたたが、その際にはキャンパスアメニティーを考慮して現在の場所に増築されるように尽力しました。

退職と共に同窓会とは無縁になりますが、20年間お世話になった東京農工大学のますますの発展を祈念し、感謝の気持ちを込めて退職の挨拶とさせていただきます。

農学研究院教授 蜷木 理 (養蚕 S47)

本学大学院農学研究科を昭和49年に修了して九州大学大学院博士課程に進学したため、本学とは疎遠になってしまいました。国家公務員となって地方を転々とし、21年ぶりの平成8年10月に農学部に戻ったときの印象は「東京の中の別世界」でした。その後、農学部は大きく変貌し、担当していた桑畑周辺にも開発の波は押し寄せ、自然豊かだった昔を思い出しています。

赴任した当初は、研究所にいた頃と比べ研究の時間がとれず大変苦労しましたが、これまでとは職務内容が異なることを自覚し、教育と研究に邁進する覚悟を決めました。本学の優秀な学生と同僚に恵まれ、何とかここまで勤められたことを感謝しています。

農工大での正規の仕事とは離れますが、在学中の思い出として、勉強にいそしんだ記憶はほとんどなく、部活ばかりが鮮やかに思い出されます。昭和30年創部の準硬式野球部は大先輩の宮城清さん(製糸 S33)が監督を努められ、現在でも立派に活動しています。しかし、赴任当時の状況としては部の経済状態はよいものとは言えず、

OB・OGの皆様には資金面でのご援助を賜りました。ここに深く御礼申し上げます。

最後になりましたが、農工大の皆様を中心に御礼申し上げますとともに、本学のさらなる発展および卒業生・修了生の皆様のみますますのご健勝をお祈り申し上げます。

農学研究院教授 服部 順昭

東京農工大学に赴任してから26年5ヶ月で定年を迎えました。その間に担当した学科名は「林産学科」、「応用生物科学科」、「環境資源科学科」と変わりました。名称を変えることは、カリキュラムも変えることになり、講義や実験のコンテンツ作りと改定に追われました。毎回の講義終了時に質問や意見、クレームを出席表に書いてもらい、次回にコメントする方法を取ってきましたが、ねらい通り伝わっていないことなど様々な発見がありました。もちろん、次年度の講義に反映させましたが、教える身でありながら、教えられました。

教授に求められる業務は一般に教育・研究・社会貢献と言われますが、それに加えて、研究資金の獲得と就職支援も意識しました。そのため、時の学部長からは兼業届けが多過ぎるので、減らすようにとのお小言ももらいましたが、上を見ればきりが無いとは言え、研究費にそれほど困ることなく Transfer Technology が続けられました。

本学は国際会議や企業の方と話していると、東大や農大に時々間違えられます。その都度違いを説明しましたが、教育・研究でこれまで以上に評価される大学に位置付けられることを願って、退職の挨拶とさせていただきます。長い間お世話になりました。

農学研究院教授 普後 一 (養蚕 S46)

昭和52年4月より本学に奉職し、平成26年3月をもって退職した。奉職してから37年間にわたり、昆虫生理・生化学の分野や昆虫を教材とした理科教育促進に携わってきたが、多くの先輩、同輩、後輩、同窓会諸兄諸姉に恵まれ、充実した日々を過ごせたと思い、感謝している。「近代日本の礎を築いた産業と東京農工大学：学長裁量経費」(本学ホームページに掲載)を纏めた時、本学が日本の発展と繁栄の礎になったことに「誇りと責任」を感じたものであるが、ユネスコ世界遺産として「富岡製糸場」が登録されることは、養蚕に携わった教育・研

究者として非常な喜びである。カイコ（蚕）という絹糸虫が我国の近代産業界をリードし、日清・日露・二度の世界大戦を経て、日本の繁栄と復興に寄与したことは、世界に誇れる素晴らしいことである。「虫（カイコ）」が国家の礎を築いた例は、世界中見渡しても我国しかない。養蚕は現在衰退しているが、歴史的・文化的観点からも、本学の果たしてきた実績を大いに学生諸君は「誇り」と感じてほしいものである。

農学部附属広域都市圏フィールドサイエンス教育研究センター准教授

松村 昭治（農S47）



1975年に農学部附属農場（現FSセンター）に就職し、早くも38年が経過しました。附属農場の存在意義は「充実した農場実習」で、当時は若さに任せて学生達と一緒に野菜畑で目一杯の実習をしました。今から想えば、理論や技術を教えるというより体育会系のサークル活動に近かった感がします。私のイメージは赤いツナギに麦わら帽子だそうです。

その最初の学生達が還暦を迎えたと聞き、感慨もひとしおです。農場では恩師村山 登先生のご助言により「肥料養分の循環」の研究を一貫して続けました。農場の畑、水田、果樹園、茶園、未耕地から土壌を深さ別に採取し化学性を調べた結果、養分の分布がきわめて非合理的であり、その原因が当時30頭以上いた乳牛の糞尿処理方法にあることがわかりました。この約10ヘクタールの農地を対象とした一連の研究で味わった快感が忘れられず、現在に至っています。

充実した農場生活でした。ありがとうございました。

工学研究院教授 仁藤 修



私は昭和55年6月に工学部放射線研究室に着任し、その後は応用物理学科に移り34年間東京農工大学でお世話になりました。応用物理学科は、電子情報工学

科、物理システム工学科と改組され博士課程をもつ専攻に発展しています。退職時まで工学部放射線研究室長を続け、一貫して放射線関連の研究教育に携わってきました。中でも、研究室の学生や、高エネルギー研、他大学の仲間と基礎データを積み重ね作りあげた測定器で得られたデータが、ノーベル物理学賞受賞の直接の根拠になったことが一番印象に残っています。多くの卒業生は研究室とは異なる様々な分野に就職していますが、いろいろな形で研究室時代の経験が生きていると言うことで、常に意を強くしてきました。一方で原子力や放射線関連企業などにも進路を得ていますが、今後も不可欠な人材として一層活躍してほしいと願っています。農工大のさらなる発展をお祈り致します。長い間ありがとうございました。

工学研究院教授 松岡 英明



昭和59年4月工学部工業化学科に助教授として着任し、バイオテクノロジーの研究教育を始めて30年経ち、本年3月退職いたしました。この間、平成元年の物質生物工学科への改組、さらに平成7年の生命工学科への改組を経験しましたが、何れも学科としての将来を議論しながらの下からの改組であったが故に、改組が成った時には感慨もひとしおでした。しかし、その後の大学院重点化、行政法人化は、全学を巻き込む大規模なもので、そのためか有無を言わせぬ上からの改組であったように思うのです。幸い、巧みな構造の組織を作り上げて頂いたおかげで、私自身の日常は概ね平穩無事でありました。そのことに、今、心より感謝しております。それでいて十分な責務を果たせたのか？と反省しきりです。人材育成こそ大学の最大の責務。ならば、この30年間に社会に送り出した学生の社会貢献こそその証であるに違いないのです。この際、彼らを激励すると称して訪ね歩くのも良いかも知れません。

## 定年退職者のお知らせ

本学在職中に同窓会活動に多大なご協力を頂いた下記の先生方が、平成27年3月で定年を迎えられます。このことに伴い、それぞれの先生方の「定年退職祝賀会」が催されることと思います。祝賀会に参加希望される場合は、各先生方の研究室にお問い合わせください。

[農学研究院]

- 安藤 哲 教授
- 鈴木 創三 教授

[工学研究院]

- 朝倉 哲郎 教授
- 亀山 秀雄 教授
- 関根 優年 教授
- 武田 猛 教授



(氏名掲載はご本人の了解を得ている方のみです)

# 平成25年度 同窓会学生援助事業報告

同窓会学生援助事業とは、母校援助の一環として本学学生の皆さんの学会発表やコンテスト・コンクールへの出場、学科の選考による優秀卒業論文表彰、種々の課外活動に対して援助金を支給し、支援する事業です。

この事業は、会員の皆様から納入いただいた同窓会費（終身会費・年会費）や入学時に納入いただいた入会金・賛助会費を元に支出しております。平成25年度の援助金総額は5,743,000円でした。ここにご報告させていただきますとともに、厚くお礼申し上げます。

今後とも母校援助にご協力賜りますようよろしくお願い申し上げます。

事 項	件 数	金 額
学会発表 <参加・出場>	537名	2,685,000円
学会発表 <入賞>	51名	510,000円
コンテスト・コンクール <出場>	27名5団体	185,000円
国際大会出場	3名	15,000円
コンテスト・コンクール <入賞>	12名3団体	150,000円
優秀卒業論文	8学科	80,000円
課外活動 <学園祭>	2件	200,000円
課外活動 <サークル活動>	20件	1,000,000円
課外活動 <リーダーズトレーニング>	1件	50,000円
キャリアアドバイザー支援	2名	120,000円
卒業・修了証書カバー支給	1,687名	748,000円
合 計		5,743,000円

## 2014年 農工祭

11月7日(金)・8日(土)・9日(日)の3日間開催!!

PICK UP

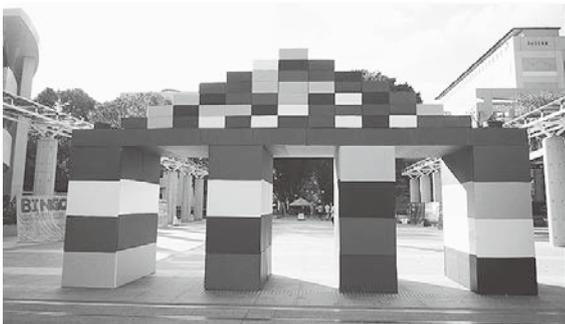
まず最初に、毎年農工祭にご支援いただきましてこの場をかりてお礼申し上げます。

今年で56回目を迎える農工祭は、毎年学生が多忙な学業の合間に試行錯誤を重ね、より楽しい祭りに進化し続けています。

近隣の同窓生のみならず、また卒業以来キャンパスに来たことのない諸先輩方々、ぜひ足を運んでいただき、その成果を直にその目で見て感じて頂ければ幸いです。

みなさまのご来場をお待ちしております。

第56回農学部実行委員長 由本 拓也  
工学部実行委員長 石川 洸也



# 部会・支部・クラス会だより

## 支部だより

### 北海道支部



日 時 平成25年11月30日(土)  
 開催場所 ニューオータニイン札幌 参加人数 20名  
 派遣理事名 野口 恵一 常務理事  
 実施事項 平成25年度総会及びミニ講演会開催  
 幹事・報告者 宇野澤 正美(農工S46)

#### <幹事のコメント>

当日の札幌は、気温は高めでしたが曇り空で、夜にはあいにくの雨となりました。

総会ではまず、長谷川支部長から挨拶と、去る5月25日に農学部で行われた本部同窓会の議事の報告、及び当日撮影した写真によりなつかしい母校の状況について紹介がありました。

そして、支部の25年度、26年度の事業報告、事業計画等議事後、野口先生より母校の現状報告があり、引き続いて専門の研究テーマについて講演していただきました。内容は、人間活動により大気に放出されている硫化カルボニルを分解する酵素の構造解析、並びにその酵素を持つ微生物の探索を工・農共同で行っているというものです。地球を取り巻く切実な内容に参加者が質問をするなどして理解を深めました。

総会が終わり写真撮影の後、長谷川支部長の乾杯により開宴し各人が近況等についてスピーチ。持ち時間をオーバーする人もいましたが、今年は若い参加者も増え、昭和から平成への新しい風を感じる同窓会となりました。

参加者の固定化が懸念される中、今後とも幅広い年代からの参加者が増えるよう努めてまいります。

### 岩手県支部



日 時 平成26年2月8日(土)  
 開催場所 ホテルメトロポリタン盛岡 参加人数 27名  
 派遣理事名 野村 義宏 常務理事  
 実施事項 講演会・支部総会および親睦  
 幹事・報告者 藤原 哲雄(農S60)

#### <幹事のコメント>

震災をはさみ4年振りに「岩手県支部の集い」が、2月8日に27名の参加で開催されました。

毎回ミニ研修会を実施しており、長澤孝志さん(農化S52)から「岩手大学と農工大との共同獣医学科の経緯と現状」について、本部役員の野村義宏教授(農化S59)からは、「ヤマブドウの丸ごと利用」のお話をいただきました。当日は、共同獣医学科1回生の会員も参加しており、さらには、林業・農業振興でヤマブドウに関わった会員も多く、活発な意見交換があり充実した研修でした。

### 宮城県支部



日 時 平成25年7月20日(土)  
 開催場所 ホテル白萩 参加人数 28名  
 派遣理事名 野村 義宏 常務理事  
 実施事項 第1号議案 平成24年度収入支出決算について  
 第2号議案 平成25年度収入支出予算について  
 幹事・報告者 佐藤 大輔(林H4)

#### <幹事のコメント>

東日本大震災以降3回目となる宮城県支部総会が開催されました。今年は初めて参加された方が多く、昨年の6割増しの参加者となり、近年においては盛大な総会となりました。

総会では、議案について異議無く承認された後、昨年に引き続き御参加された、本部来賓の農学部野村義宏教授から、「アメジスト化粧品開発での復興支援」と題し、大学発の事業創出や実用化に向けた取り組みなどの研究成果について御講演頂き、当県での活動や、震災後の復興に向けての今後の展開などについて貴重なお話を伺いました。

今回の総会では、初めて平成卒の人数が過半数を占め、まさに老若男女、様々な分野でご活躍の方が揃いました。総会後の懇親会では、ベテラン会員、若手会員がそれぞれの大学での思い出話などに盛り上がり、2次会にもほとんどの方が参加されるなど、盛会に終えることができました。

### 福島県支部



日 時 平成25年7月6日(土)  
 開催場所 ホテル福島グリーンパレス 参加人数 37名  
 派遣理事名 鈴木 創三 副理事長  
 実施事項 議事内容：平成24年度事業報告、平成25年度事業計画の承認、役員改選  
 講演・討論会等：鈴木副理事長から農工大の近況について懇親会  
 幹事・報告者 三森 裕(生産H13)

#### <幹事のコメント>

去る平成25年7月6日(土)、「福島グリーンパレス」(福島市)において第48回総会が会員37名の出席のもと、本部副理事長の鈴木創三教授のご臨席をいただき盛大に開催されました。

議事に入る前、昨年度からこれまでに支部事務局に連絡があった4名の物故者を紹介し、黙祷によりご冥福をお祈りしました(物故者：齊藤 栄吉氏、竹林 克明氏、塚原 輝雄氏、鈴木 久雄氏)。

総会では、稲留薫先輩(蚕糸S49)の議長により、平成24年度事業報告並びに平成25年度事業計画が満場一致で了承されました。

役員改選については、新たに監事として渡部正明(環保S55)が

選出されました。

総会終了後は、恒例の懇親会を開催しました。乾杯後、鈴木教授から母校の近況や、農工大が福島県において実施している「福島農業復興支援プロジェクト」についてご紹介をいただきました。また、新会員の紹介（荒川英莉氏、六川真樹氏）や目黒友氏（蚕糸S53）による余興もあり、大いに盛り上がりました。さらに、大学校歌を教授と参加者が一緒に熱唱するなど、和やかな雰囲気での会が進行しました。会の閉めは、柳沼泰衛顧問（養蚕S31）の万歳三唱により行い、参加者の面々は来年の再会を胸に誓いつつ散会しました。

### 栃木県支部



日 時 平成25年12月7日（土）  
 開催場所 ホテルマイステイズ宇都宮 参加人数 16名  
 派遣理事名 淵野 雄二郎 常務理事  
 幹事・報告者 村松 梅太郎（獣医S39）、南木 好樹（農工S58）

#### <幹事のコメント>

本県の支部活動を楕円にたとえるなら焦点の1つは支部会報の発行であり、もうひとつが支部総会である。  
 支部会報は年一回の発行ながら全支部会員に配布し13号を数えるに至った。支部総会は少数精鋭が集う。  
 総会は本部から常務理事淵野教授をお迎えし、農工大の現状と課題をレクチャーいただき有意義に、盛会裏に終了した。顧問の西川公也衆議院議員はTPP責任者としてシンガポール滞在中で、その話は来年にお預けとなった。

### 埼玉県支部



日 時 平成25年10月20日（日）  
 開催場所 パイオランドホテル 参加人数 22名  
 派遣理事名 馬場 眞知子 常務理事  
 実施事項 平成25年度総会及び懇親会  
 幹事・報告者 山岸 典夫（農S61）

#### <幹事のコメント>

平成25年10月20日に、支部会員22名及び本部理事の馬場眞知子先生にご出席を賜り、平成25年度埼玉県支部総会を開催しました。  
 総会では、平成24年度事業報告並びに決算報告、平成25年度事業計画並びに予算案について審議された後、平成25・26年度の役員改選が上程されました。  
 立候補が無かったため、事務局案を提示したところ、満場一致により承認され、支部長に池田哲二郎氏、副支部長に白井久氏と金本伸郎氏が選任されました。  
 また、これまで支部長として御活躍いただいた善林六朗氏におかれては顧問に就任いただきました。  
 来賓あいさつでは、馬場先生よりあいさつを兼ねて大学の近況などについてお話をいただきました。  
 総会終了後には、懇親会を行い懐かしい大学の話に盛り上がり楽しい時間を過ごしました。

### 神奈川県支部



日 時 平成25年9月7日（土）  
 開催場所 オークラフロンティアホテル 参加人数 20名  
 派遣理事名 野村 義宏 常務理事  
 実施事項 ①平成24年度決算の承認について  
 ②平成25年度予算の承認について  
 ③神奈川県支部50周年記念事業について  
 ④野村教授からの農工大学の近況について  
 ⑤懇親会  
 幹事・報告者 日下 義行（農工S59）／笠木 一行（農工S62）

#### <幹事のコメント>

支部会員20名の出席と、本部理事である野村教授（農学部附属硬蛋白質利用研究施設）をお迎えして開催しました。  
 総会での話題の中心は、来年に神奈川県支部創設50周年記念事業をどう開催しようかとするものです。方針として決まったことは、来秋、東京農工大学構内において総会を開き、また、構内を御案内していただくというものです。  
 近年の総会参加者が固定化されつつあるなか、来年だけでもいいので、多くの参加者を集める工夫をしようなど話がありました。

### 新潟県支部



日 時 平成25年6月7日（金）  
 開催場所 チサンホテル 参加人数 22名  
 派遣理事名 淵野 雄二郎 常務理事  
 実施事項 決算・監査報告、支部50周年記念誌について  
 幹事・報告者 村山 康則（農H3）

#### <幹事のコメント>

・淵野理事から府中・小金井の現況映像（ホームビデオ）を紹介いただき、皆、学生時代を懐かしんでいました。  
 ・新潟支部50周年を記念して、会員の自由作文集（農工通信の支部版）を作成することとしました。

### 富山県支部



日 時 平成26年3月8日(土)  
 開催場所 日本橋俵屋(富山市) 参加人数 13名  
 派遣理事名 千年 篤 常務理事  
 実施事項 総会及び親睦  
 幹事・報告者 串田 泰彦(農S62)

#### <幹事のコメント>

平成25年度の富山県支部総会を千年総務副部長をお迎えして開催しました。

千年先生には、農学部を中心に近況を報告していただき、たくさんの研究成果や、昔とは様変わりした様子など、いろいろとお聞きできました。

総会での1年ぶりの再開の方も多く、楽しく懇談することができました。

今年は、初参加の若い方の出席があり、新鮮な印象を受けました。今後とも幅広い世代から参加していただけるように努めてまいります。

### 石川県支部



日 時 平成26年3月12日(水)  
 開催場所 ホテル金沢 参加人数 11名  
 実施事項 総会及び親睦会  
 幹事・報告者 西山 宏(環・資H6)

#### <幹事のコメント>

北陸新幹線の開業を1年後に控え、ますます賑わいをみせる金沢駅近くのホテルで、総会及び懇親会を開催しました。

当日は例年になく暖かな春の陽気を感じさせる日となり、昭和46年卒から平成6年卒までの11名の参加者は時が経つのも忘れて昔話に花を咲かせていました。

今後も幅広く同窓生に呼びかけ、親睦の和を広げていくことを皆で誓い閉会となりました。

### 山梨県支部



日 時 平成26年3月15日(土)  
 開催場所 ホテル談露館 参加人数 36名  
 派遣理事名 野口 恵一 常務理事  
 実施事項 事業報告、会計報告、役員改選、その他報告  
 幹事・報告者 原 昌司(蚕糸S60)

#### <幹事のコメント>

3月15日(土)に甲府市内「ホテル談露館」において開催しました。山梨県は2月14、15日の記録的な大雪により農業用ハウスの倒壊など甚大な被害が発生しましたが、約一ヶ月が過ぎ、現場の混乱も一先ず落ち着いたため、本総会も無事開催することが出来ました。

当日は好天にも恵まれ、36名の支部会員に集まってもらうことができました。

総会では今期事業報告、会計報告に続き役員改選が行われ、石川

昇支部長(農S37)他、新たな役員が選出されました。

続いて、本部からご出席を賜った野口恵一先生(材料H1、本学准教授)から、大学の近況を詳しく聞かせていただくことができました。

懇親会では、出席者の皆さんから近況報告が行われ、互いの顔を見合わせながら旧交を温めることができました。

### 三重県支部



日 時 平成25年9月8日(日)  
 開催場所 新玉亭(津市) 参加人数 15名  
 派遣理事名 淵野 雄二郎 常務理事  
 実施事項 本部総会報告、役員改選、淵野先生より母校の近況報告  
 幹事・報告者 古野 優(獣医S60)

#### <幹事のコメント>

今年も、津市の新玉亭で総会と懇親会を開催しました。大石さん、大角さんが久しぶりに参加されました。藤村峰志さんが初参加でした。

幹事の古野が私用のため急遽欠席してしまいましたが、欠席裁判で新支部長に選出されてしまいました。副支部長は、富樫隆雄さんに引き続きお願いしました。吉田前支部長、平野繁さん(留任)、西野実さんが幹事となりました。

工学部出身者の参加は今年も4名でした。来年は奮ってご参加下さい。

### 京都府支部



日 時 平成25年7月6日(土)  
 開催場所 京都平安ホテル 参加人数 9名  
 実施事項 支部総会および交流会  
 幹事・報告者 西村 寿(農工S50) / 平野 孝志(農工S53)

#### <幹事のコメント>

梅雨の合間の猛暑となった7月6日(土)に同窓会京都支部の総会・交流会が9名の参加で行われました。

総会では植村左千夫支部長(林S20)が体調不良で急遽欠席されましたので、西村寿連絡員(農工S50)の開会挨拶と同窓会本部総会に出席の山田貴氏(農工S59)から総会と府中キャンパスの写真を交えながら近況報告があり近年の大学の変貌ぶりに驚いています。

その後事務局から支部会計報告があり、出席者最年長の續葛修一氏(織工S33)の乾杯発声で交流会が行われました。

交流会では、参加者ひとりひとりから学生時代の思い出や近況報告があり、それぞれの話に聞き入りながら和やかなひとときを過ごしました。

今回は節目の5回目となることから10月頃に祇園で同窓会を開催することを決め(舞妓さんは無理かも)、来年の再会を楽しみに散会となりました。

## 岡山県支部



日 時 平成25年8月24日(土)  
 開催場所 ピュアリティまきび 参加人数 17名  
 派遣理事名 渡辺 元 常務理事  
 実施事項 総会、渡辺事業部長講話、懇親会  
 幹事・報告者 佐藤 和久(農S54)

### <幹事のコメント>

本年度の岡山県支部総会では、同窓会本部より派遣された渡辺事業部長から本学の近況等について、ご講演をいただきました。  
 また、香川県支部の岡崎進支部長にもご参加を頂き、総勢17名での開催となりました。参加者の最高齢は竹原宏先輩の91歳から、本学を卒業したばかりの林芳樹君までという幅広い世代が集まりました。  
 自己紹介を交えての懇親の場においては、旧交を温める一方で、新たな出会いに話を弾ませる場面も多々あり、同窓会活動の目的に応じた活動ができました。  
 次年度以降においても、特に若い世代の参加を促しつつ、より充実した総会にしたいものと考えています。

## 広島県支部

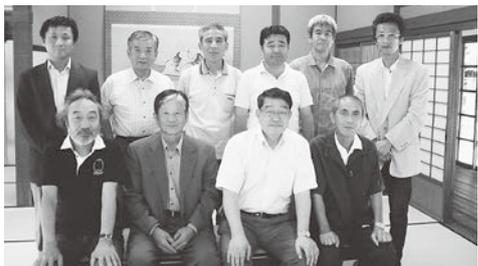


日 時 平成26年2月23日(日)  
 開催場所 メルパルク広島 参加人数 14名  
 派遣理事名 淵野 雄二郎 常務理事  
 実施事項 会計報告、役員承認、大学の近況報告など  
 幹事・報告者 三宅 信行(環保S55)

### <幹事のコメント>

当日になっての欠席者もあり、参加者数は昨年を下まわりましたが、たいへん盛り上がりました。盛り上がって幹事も少し飲みすぎたせいか、集合写真はピンボケとなってしまいました。出席者の皆さん申し訳ありませんでした。  
 また、大崎上島でブルーベリーを生産されている横本正樹さん(農S48)から参加者へジャムのプレゼントがあり、一同喜んで帰って帰りました。

## 山口県支部



日 時 平成25年7月14日(日)  
 開催場所 菜香亭(山口市) 参加人数 9名  
 派遣理事名 亀山 秀雄 常務理事

実施事項 派遣理事によるミニ講演会、支部総会  
 幹事・報告者 岡本 賢一(植防H4)

### <幹事のコメント>

今回は、井上馨や佐藤栄作など著名人が利用した料亭(祇園菜香亭)を移築復元した山口市菜香亭で開催しました。  
 庭園を望んでのミニ講演会、支部総会・懇親会は、講演を引き受けてくださった亀山先生をはじめ、集まった支部会員の方にも満足していただけたと思います。  
 亀山先生には近くにある国宝瑠璃光寺五重塔にもご案内しなかったのですが、時間の都合で叶わなかったのが残念です。  
 参集メンバーが固定化された感が否めない当支部ですが、来年も元気に再会したいと思います。

## 鳥取県支部



日 時 平成26年2月16日(日)  
 開催場所 東郷温泉「水明荘」 参加人数 8名  
 実施事項 母校・本部の報告、新年度役員決定、新年度活動計画  
 幹事・報告者 小林 壽(製糸S24)

### <幹事のコメント>

今年の山陰は、立春から気温が低下し寒い日が続きましたが、総会当日は好天となり春の到来を感じさせる一日となりました。  
 西尾支部長の死去にともなう支部役員には世代交代で若い会員にお願いしました。  
 出席会員の現状報告や、今後の活動計画の検討が主体となりました。

## 香川県支部



日 時 平成25年11月16日(土)  
 開催場所 くつろぎの里「庄や」 参加人数 12名  
 派遣理事名 西澤 宇一 常務理事  
 実施事項 会則改正、役員選出(工学部出身者からも副支部長、幹事を選出)、西澤常務理事より母校の近況報告・機械システム工学科の取組みや研究テーマについて、懇親会  
 幹事・報告者 河野 幸彦(林S63)

### <幹事のコメント>

11月16日に香川県支部総会を開催しました。同窓会本部から西澤企画担当副部長をお迎えし、母校の近況や機械システム工学科の研究テーマや取組みについてお話いただきました。  
 鳥飼顧問(獣医S32)の乾杯で懇親会に移り、多数の工学部OBから小金井キャンパスの今昔に話題が集まり、また、西澤先生の専門のロボットの話に盛り上がりました。  
 今回は平成になってからの卒業生が2名参加し、来年は新入社員として香川県に在住することになる新卒生が居るとか?フレッシュ会員に期待が膨らみます。  
 予定時間をはるかに越えて話しに熱が入りましたが、名残を惜しみつつお開きとなりました。香川県支部の名簿の整理もだいぶ進んできたので、来年はもっと大勢の同窓に集まってもらえるものと夢が膨らみます。

## 徳島県支部



日 時 平成25年10月26日(土)  
 開催場所 日本料理さわらぎ(徳島市) 参加人数 6名  
 派遣理事名 野村 義宏 常務理事  
 実施事項 収支報告、近況報告、懇親会  
 幹事・報告者 小杉 純一郎(林S63)

### <幹事のコメント>

本部から野村先生に来ていただき、最近の大学の様子を教えてくださいいただいたり、懇親会では皆さんの近況を伺ったりで、とても楽しい同窓会でした。

## 高知県支部



日 時 平成25年10月12日(土)  
 開催場所 高知県立牧野植物園 参加人数 6名  
 派遣理事名 高橋 幸資 理事  
 実施事項 平成24年度収支決算報告、本部同窓会通常総会参加報告、講演会、食事会  
 幹事・報告者 豊田 陽一(蚕糸S57)

### <幹事のコメント>

平成20年に長らく行われていなかった県支部総会と懇親会が久々に開催され、その後平成23年からは毎年開催しています。今年は寺峰新支部長のもとでの開催となりました。

今年は、総会と共に講演会も企画し、本部から来ていただいた高橋幸資先生による「大学における研究の私的在り方」と、県立牧野植物園学芸員の藤井聖子氏による「高知県の植物と牧野富太郎」という二つの講演を行いました。

総会と共に講演会も企画したので多くの方の参加を期待したところですが、秋の連休と重なったこともあったためか、参加者は6名と少し寂しいものでした。しかし、昭和20年養蚕卒の花田大先輩も駆けつけてくださり、講演会の後の食事会ではそれぞれの近況等情報交換が活発に行われました。

## 宮崎県支部



日 時 平成25年11月30日(土)  
 開催場所 かまどダイニング福蔵(宮崎市) 参加人数 16名  
 実施事項 平成24年度実績報告及び決算、平成25年度計画及び予算  
 幹事・報告者 松山 隆二(林産H5)

### <幹事のコメント>

去る11月30日(土)に宮崎市のかまどダイニング「福蔵」において、平成25年度宮崎県支部同窓会を開催しました。参加者16名と例年より人数の少ないながらも、1年ぶりの顔合わせということで、賑やかなひとときとなりました。

近況報告では、それぞれ話すことが有り余っているようで、時間いっぱいまで話しは尽きませんでした。時間がきてしまったので、みんなで写真を撮り、また来年の再会を約束して店を後にしました。

## 鹿児島県支部



日 時 平成25年11月9日(土)  
 開催場所 和創亭くら蔵(鹿児島市) 参加人数 14名  
 派遣理事名 富永 洋一 常務理事  
 実施事項 ①協議：平成24年度事業実績及び収支決算について、平成25年度事業計画及び収支予算について、その他 ②交流会  
 幹事・報告者 平 繁人(養蚕S45)

### <幹事のコメント>

同窓会鹿児島県支部の平成25年度総会を本学同窓会の富永常務理事をお迎えして、11月9日(土)に鹿児島市で開催しました。今回は支部活動再開後、3年度目を迎え、4名の会員に新たに参加いただき、計14名での総会となりました。

総会では、上原会長の挨拶の後、富永理事から母校の近況を紹介いただきまして。カラフルなパンフレットでのお話でしたので、受験希望する高校生のような気分を味わうことができました。

さらに、24年度実績と25年度計画を審議後、懇親会の運びとなり、お店に迷惑かけるくらい?の時間まで気持ちよく深酒をできました。

最後に、H23卒の元気な中島君の音頭で、今後の活発な活動を約束して、お開きとなりました。

## 横浜会



日 時 平成25年6月14日(金)  
 開催場所 華正楼本店 参加人数 7名  
 実施事項 1.第50回通常総会の報告 2.横浜会会計報告及び会計監査報告 3.横浜会会長選任 4.会員各位の近況報告 5.懇親会  
 幹事・報告者 加藤 裕二郎(製糸S44)

## クラス会だより



全国の同窓生から楽しいおたよりをいただきました。

クラス会やOB・OG会開催のため、会員名簿が必要な方は「部会・支部・クラス会等名簿提供依頼」(同窓会ホームページにひな形があります)に、身分証明書(運転免許証、健康保険証など)のコピーをつけて、同窓会事務局宛てに郵便またはメールにてお送りください。

開催された後は、是非ご報告ください。農工通信と同窓会ホームページに掲載させていただきます。

### 三九会 (サンキュー会)

製糸S39卒



2013年8月1日  
東京プリンスホテル屋上庭園にて

日 時 平成25年6月1日(土)  
開催場所 東京プリンスホテル  
参加人数 17名  
実施事項 親睦会  
幹事・報告者 渥海 清志・大滝 厚・岡崎 彦二郎

#### <幹事のコメント>

50年振りのクラス会。  
田中君の乾杯の音頭で会がスタート。それぞれが思いのままにテーブルを囲んで再会を喜び合った。参加できなかった大井君にはみんなで励ましの寄せ書きもした。

最後に、木村君の発案で、各人に50年の中の一コマを語ってもらったが、それぞれに苦労あり、喜びもあったことを屈託なく語ってくれた。澤崎さんは「ウィーン楽友協会ホールでコーラス発表公演をしたことは生涯の思い出」と目を輝かせて目標を持つ大切さを改めて認識させてくれた。

その容姿は浦島太郎のようであっても、会ってみれば昔の姿や話しぶりがそのまま、学生時代のお付き合いそのものであった。短い時間ではあったが、この上ない生涯の友と気が置けない良質の時を過ごすことができ再会を約してお開きとなった。

### 昭和38年卒農学科・農業工学専修 合同同期会

農・農工院S38卒



日 時 平成25年6月20日(木)  
開催場所 日本料理 三松本店(府中市)  
参加人数 18名  
実施事項 農学部新施設見学と構内散策、近況交換、親睦幹事・報告者 稲葉 次郎

#### <幹事のコメント>

昭和38年に農学科ならびに農業工学専修に分かれて卒業、卒後50年を記念しての同期会に全国から18人が参加しました。

11時に農学部本部に集まり、懐かしい学生時代の話に花を咲かせながら、大学のお世話で新研究施設の見学と構内の散策。13時にあらためて会場に参集、亡くなられた方々に黙祷を捧げた後、各人から大学卒業後の興味深くもそれぞれの人生の話が尽きず予定時間を超過、締めには校歌や「色の黒い奴」などで氣勢を上げ、再会を誓い合ってお開きとなりました。

次回は小泉君が中心になって準備を進めることにしました。

【写真(敬称略)】前列左より、満重、伊藤、藤原、中村、池上、武富、細井、千年、後列左より、小泉、鳥山、只友、土岐、廻谷、稲葉、鎌田、西牧、日高、(鬼塚は少し遅れて参加、写真から外れました。)

### 昭和43年入学農学科・養蚕学科合同クラス会Ⅳ

農・養蚕S47・48卒



日 時 平成25年6月29日(土)  
開催場所 RC TAVERN トラストタワー店  
参加人数 25名  
実施事項 親睦・近況報告  
幹事・報告者 鈴木 創三

#### <幹事のコメント>

田淵氏からレディースにチョコレート、高橋氏から全員にウナギパイのプレゼントに始まり、料理7品と紅白ワインを軽く嗜みながら、サンデー毎日の日々、山登り・ゴルフ・マージャン、孫自慢、病気克服自慢?などの話題で、楽しいひとときを過ごしました。

写真は竹田さんが札幌に帰る際に、勝ち進む少年野球のために関谷氏が挨拶だけに駆けつけ、全員が揃った時のものです。

## 機友49会

機械S49卒



日 時 平成25年6月29日(土)～30日(日)  
 開催場所 熱海後楽園ホテル  
 参加人数 22名  
 実施事項 近況報告・親睦  
 幹事・報告者 横浜会(米澤, 澤野, 高木, 杉崎)・榎本一男

### <幹事のコメント>

前回開催の有馬温泉から2年経ち、横浜近辺のメンバー主体に下見から当日の段取りまで行い、熱海温泉に22名も集結することができ、近況報告を兼ねた宴会からカラオケで学生時代に戻り楽しい時間を過ごしました。

その後、深夜まで今後の開催場所やこの会の主旨について久々に熱い議論?を行い、次回は広島方面で実施することを決定しました。

尚、今回も現地到着前からカラオケまで予想外のハプニングもありましたが、翌30日も天候に恵まれ熱海の海を背景に澤野カメラマンによる記念撮影を実施し、皆無事に帰宅。

次回2015年は少々遠い場所ですが今回を上回る人数で実施したいと思っておりますので、宜しくお願いします。

## 電気工学科3期生の集い(同期会)

電気S43卒



日 時 平成25年9月14日(土)  
 開催場所 和食処・酒処 乃の木(新宿)  
 参加人数 20名  
 幹事・報告者 荒井・長尾(和)・福地・松崎・皆川・福士

### <幹事のコメント>

卒業して45年、前回の集まりから10年が経ち第一線を退いた人も多いはずで、旧交を温めようと集まりました。

近況報告では現役で活躍中の人、病歴のオンパレードの人など、それぞれに重ねた歳月の長さを感じました。ご健在の5先生も参加され、和気あいあいのうちに再会を約して新宿の夜景を見下ろす2次会場へと繰り出しました。

写真の前列左から田中(國)先生、木村先生、高島先生、松井先生、2列目左から長尾(和)、吉瀬先生、平地、関野、3列目左から杉崎、福地、鈴木、細川、後列左から福士、坂本(現)、皆川、松本、新井、荒井、長尾(邦)、松崎。

## 余燦会は大相撲見物とチャンコの会

農化S43卒



日 時 平成25年9月26日(木)  
 開催場所 チャンコ鍋屋(両国)  
 参加人数 11名  
 実施事項 大相撲秋場所見学と懇親会  
 幹事・報告者 大島 誠之助・多田 全宏

### <幹事のコメント>

農芸化学科昭和43年卒業生は同期会(余燦会)を平成25年9月26日に開催致しました。

メンバーの年齢構成には少し幅がありますが、古希前後になった今年、久しぶりに集まって積もる話をしようということになりました。

当日は15時に両国駅に集まり、先ず大相撲秋場所12日目を見物して楽しみました。ひいきの力士が勝った時には拍手をして大喜びでしたが、結びの一番で稀勢の里が日馬富士に勝った時には座布団が飛び交い、館内はおおいに湧きかえりました。

その後、近くのチャンコ鍋屋に場所を移し、チャンコなどを食べながらお互いの近況報告などの話をして旧交を温めました。

我々のクラスは入学時には28人でしたが、物故者が3名おります。今回は何とか元気になっている者の中で、それぞれの都合もあり、東京近辺在住の者を中心に11名が参加して楽しい時間を過ごすことができました。次回の同期会での再会を約して散会しました。

## 植物研究会OB/OG会



日 時 平成25年9月29日(日)  
 開催場所 新宿御苑、新宿ライオン  
 参加人数 16名  
 実施事項 近況報告・親睦  
 幹事・報告者 中澤 健雄(植防S45)

### <幹事のコメント>

およそ10年ぶりに植物研究会OB/OG会を開催。場所も自然に近いところで10年前と同じ新宿御苑。丁度S40～S50年の植物研究会員だったメンバーが中心になって集まる。天気も良く新宿御苑にもある雑木林では秋の野草についてそれぞれの蘊蓄が語られるなど和気あいあいの時間を過ごし、懇親会は新宿ライオンに場所を移し、さらに旧交を温めた。

平成26年は奥多摩の御岳山に1泊で集まることにしている。

## 電気工学科S44卒同期会

電気S44卒



日 時 平成25年10月4日(金)  
 開催場所 芝弥生会館(浜松町)  
 参加人数 24名  
 実施事項 懇親、近況報告  
 幹事・報告者 成行 純一

### <幹事のコメント>

昭和44年に卒業後、44年を記念して同期会を開催しました。32名の該当者に対し24名もメンバーが参加しました。

40年近く会っていない人がほとんどなので、どなたでしたっけと確認する人が何名かいました。発起人の諸隈さんの挨拶の後、亡くなられた方々に黙祷を捧げ、その後各人より大学時代の秘話、卒業後の経過報告、近況報告等があり、最後に昔のグリークラブメンバーの音頭で校歌を歌って散会となりました。

今回は先生方をお招きする事ができませんでしたが、次回はお招きしたいと思っております。

## 昭利51年度卒弓道部同期会



日 時 平成25年10月12日(土)～13日(日)  
 開催場所 湯田中温泉「よるづやアネックス湯楽庵」  
 参加人数 11名  
 実施事項 親睦・夏合宿所見学  
 幹事・報告者 代田 雅夫(農工S52)

### <幹事のコメント>

昭和48年度入学、昭和51年度卒業で弓道部に在籍した同期12名(1名欠席)は、40年ぶりに初めて夏合宿に来た旅館や弓道場を見学して、湯田中温泉で懇親を深めました。

還暦に近くなったせいか、意外と当時の記憶が定かではないことに気が付きました。次の日は、奥志賀高原の紅葉を見て、信州のおいしいリンゴとそばをいただいて解散となりました。

参加者は、農学部の小尾、清水、西岡、小結、鈴木、森、野島、代田、工学部の池田、瀬戸口、目黒でした。

追伸：欠席していた林学科村上雅一さんが平成25年10月18日に急逝されました。ご冥福をお祈り申し上げます。

## S31農学科・農芸化学科合同クラス会

農・農化S31卒



日 時 平成25年10月16日(水)  
 開催場所 響(有楽町イトシア店)  
 参加人数 農学科7名、農芸化学科3名  
 実施事項 情報・近況交換、親睦  
 幹事・報告者 畑中 孝晴、塚越 健、秋本 雄一、渋谷 成美

### <幹事のコメント>

台風26号直撃の日の開催となり飛行機の欠航で参加中止となった人(天野氏)が発生したり、電車の遅延で遅れた方も居りましたが、無事例年と同様に旧交を温めることが出来ました。

写真左上段から栗原、塚越、大和田、畑中、下段は渋谷、秋本、北原、志村、斎藤、西納の10名です。

本年に入って中島、後藤氏が亡くなりました。歳相応に病を抱えておられる方も多くなり残念ですが、健康を維持する有志の来年度の再会を約束して約3時間のクラス会を終えました。参加出来る同期の方をお待ちしています。

## 機械工学科S40年卒同期会

機械S40卒



日 時 平成25年10月18日(金)  
 開催場所 四川豆花飯荘(東京丸の内 新丸ビル)  
 参加人数 23名  
 実施事項 親睦・情報交換  
 幹事・報告者 鳴海 順夫

### <幹事のコメント>

各研究室が幹事を担当するようになって、今回から2周目に入りました。

ほぼ年1回の開催で、毎回25名前後の方に参加して頂いています。

お一人お一人が近況報告しますと、それだけで時間がなくなってしまいますので、今回はお二人の方に話題提供してもらいながら、美味しい食事やお酒を嗜み、周りの方々とお話や雰囲気を楽しむ会を狙いました。

話題提供は、①なぜ日本人はワインを飲まないか/中沢鉄郎さん、②逆断層型地震の予知/市川捷二さんで、お二人とも第一線を退かれてから取り組まれた素晴らしい内容でした。

参加された皆さんは大いに刺激を受けました。

## ラグビー部シニアOB会



(2013・10・28)

日 時 平成25年10月27日(日)～28日(月)  
 開催場所 第一ホテル両国、東京遊覧  
 参加人数 11名  
 実施事項 懇親、情報交換など  
 幹事・報告者 北原 敬悟(農工S31)

### <幹事のコメント>

ラグビー部シニアOB会は、1998年(平10)5月「創部時ラグビーの集い」として昭和20年代の部員を中心として発足し、その後2004年(平16)に60歳を越えた者に加え、今の会名に改め、年1回ずつ開催してきました。

しかし、創部時のメンバーは他界されたり、あるいは健康上の理由から参加が厳しくなってきたため、とりあえず、今回で一区切りつけようということになりました。残念ですが、15年間無事続いたことに感謝したいと思います。

今回は、5組のご夫婦と一人が参加し、両国のホテルに一泊し懇親を深め、翌日はハトバスで、東京スカイツリー、シェラトン・ベイホテルでの昼食、お台場の散策などを楽しみました。そして夕暮れ迫る東京駅で、また新しい会が出来れば身体の動くうちは参加すると誓いつつ、遠くは大阪、名古屋、近くは東京近郊に散っていきました。

## 農学科(林産学科含む)40年卒クラス会

林・林産S40卒



2013/10/30

日 時 平成25年10月29日(火)～30日(水)  
 開催場所 別府温泉  
 参加人数 14名  
 幹事・報告者 園田 英二

### <幹事のコメント>

昭和40年卒、林産学科を含む林科のクラス会です。毎年幹事が変わり、地方対関東地方を交互に開催しております。今年は全国的にも有名な別府温泉に集合、70才を過ぎてそれぞれ何かの疾患を持っていると思うが、みんな元気でした。夜の2次会でもワイ・ワイ・ガヤ・ガヤ、それぞれの行き様を語らい、楽しそうでした。

来年は東京に集まろうと決まり、縄野君が幹事です。

1200年前に鶴見岳爆発で色々な地獄湯が誕生しましたが、来年の再会を約束して有志7名で地獄めぐりへ出かけました。

## 織工38会

織工S38卒



日 時 平成25年10月30日(水)～31日(木)  
 開催場所 箱根(千代田荘&箱根散策)  
 参加人数 15名  
 実施事項 卒後50周年記念 情報交換・親睦  
 幹事・報告者 中井 健一・深水 智明

### <幹事のコメント>

織維工学科をS38年(1963年)に卒業し、はや、50年になりました。当会は1年半ごと(春と秋を楽しめるよう)に、東京(2回)、関西(1回)と交互に開催し、互いの近況を確認しております。

今回は天候にも恵まれましたので、箱根の秋を散策、楽しみながら歓談し、卒後の還暦(卒後60年)に向けて健康を確かめ、まだまだこれからと、互いを鼓舞したところです。

## 農学科55年卒クラス会

農S55卒



2013.11.30 19:4

日 時 平成25年11月30日(土)  
 開催場所 鳥茶屋・別亭  
 参加人数 16名  
 幹事・報告者 荒木 俊光

### <幹事のコメント>

卒業から33年たった平成25年8月25日、クラスの人気者だった瀧川佳秀君が病氣療養中のところたいへん残念ですが亡くなりました。告別式に駆けつけられなかった仲間もいて、「瀧川くんを偲ぶ会」というかたちで、昭和63年以來26年ぶり2回目のクラス会を行いました。

最初、瀧川夫人の早苗様より闘病の様子が報告され、皆無念の思いを募らせました。その後、各自から瀧川君の思い出と近況報告を行いました。

卒業以來初めて会う仲間も多く、あっという間に時間が過ぎました。次回の再会を確認して散会となりました。

写真前列左から：荒木、夏目、星、瀧川夫人、高品、反町、松田  
 後列左から：齊藤、新宅(片岡)、蓮池、西岡、井上(守屋)、鈴木、浦野、村上

なお、普及員派遣研修の西山一雄さん(千葉県)も前半部分のみ参加されました。

## 機械工学科・生産機械工学科昭和57年卒同期会

機械・生機S57卒



日 時 平成25年12月7日(土)  
 開催場所 小金井キャンパス  
 参加人数 13名  
 実施事項 科学博物館、6号館見学ほか  
 幹事・報告者 桑原 利彦(生機S57)

### <幹事のコメント>

平成25年12月7日(土)、同期の荒井君、菰田君とともに、機械工学科・生産機械工学科昭和57年卒同期会を企画・開催しました。早いもので卒業してから31.5年が経っていました。140周年記念会館(通称エリプス)前に集合したのち、リニューアルされた科学博物館や専門科目の講義を受けた6号館などを見て回りました。工学部のキャンパスは当時とは比較にならないほど美しく整備されており、一同感動しきりでした。

同期の友人がそれぞれの道で元気に活躍し、生き生きしている姿を拝見することは大変嬉しく、私も大きな元気をもらいました。今回の参加者は13名でしたが、次回は連絡網を整備し、より多くの同期に参加してもらいたいと思っています。桑原までは是非とも連絡先をお知らせ下さい。

(写真)列毎に左から右へ→高崎、山本、小野、中野、田中、渡辺(厚)、菰田、篠原、今成、桑原、奥脇、山田、渡辺(晋)

## 7318会(林産学科)

林産S52卒等



日 時 平成26年5月5日(月)  
 開催場所 浅草「菜丸進」  
 参加人数 12名  
 実施事項 親睦・情報交換・観光  
 幹事・報告者 前田 辰雄

### <幹事のコメント>

今年度で還暦を迎える会員を記念して開催した。今年度で定年を迎える者、既に迎えた者、役員となってまだ活躍している者など、様々だったが、会ってみると「やっぱり変わっていないな…」という印象が多かった。欠席者の情報は、タブレット端末で紹介し、各自の近況を交換し合った。

ただ残念なのは、昨夏、1名の会員が病気で逝去されたことであった。これまでに計4名が鬼籍に入られたが、冥福を祈るとともに、残された会員の健康と活躍を祈念した。

今回は6回目の会であったが、初めて参加した会員が1名いて、会を盛り上げてくれた。会場を出てからは、浅草寺周辺を散策して解散した。次回は2年後を予定している。

※7318会の名称は、1973年に入学した学生の共通学籍番号「7318XX」から命名しています。その後、御婦人なども加入されていますので、クラスは、S52林産学科卒「等」としています。全員、林産学科卒です。

## 工業化学科S39年卒クラス会

工化S39卒



日 時 平成26年5月13日(火)~14日(水)  
 開催場所 ホテル プライムリゾート賢島(志摩市)  
 参加人数 22名  
 実施事項 卒業50周年記念親睦、お伊勢参り、ゴルフ  
 幹事・報告者 城後 雄児

### <幹事のコメント>

卒業50周年記念の節目に、幹事在住の三重県で伊勢普咲会を開催しました。

福島、東京および大阪近郊、富山、広島、愛媛から元気澁刺の22名(女性2名)が参集して、志摩市のあご湾クルーズ後ホテルで親睦会を夜半迄実施しました。皆さん50年前の学生時代にタイムスリップしたかと思われる様子でした。

翌日、昨秋の20年式年遷宮直後で、檀の香りと金箔の眩しい伊勢神宮参詣と、一部メンバーは賢島(かしこじま)C.C.にてゴルフを楽しみました。

なお卒業後50年親しんだS39工化卒クラス会の愛称「不作(ふさく)会」を新たに「普咲(ふさく)会」と改称しました。

## 造林学研究室卒業生有志同窓会

林学科造林学研究室卒業生



日 時 平成26年5月18日(日)  
 開催場所 KKRホテル東京  
 参加人数 11名  
 幹事・報告者 本山 芳裕(林S48)

### <幹事のコメント>

平成26年5月18日にKKRホテル東京において、「相場先生を囲む会」が開催されました。

この会は、相場先生から椿山さんに「三宅島2000年噴火の微・弱被害地樹木の12年の生育と対応-(付)強被害樹林の現況-(肥料科学、第35号、35~73(2013))」が送られたことを契機として、連絡が取れた林学科造林学研究室卒業生有志により開催されたものです。

出席者は、相場芳憲先生を始め、小倉(卒業昭和49年)、天野(50年)、黒鳥(50年)、椿山(50年)、白石(51年院)、馬場(51年院)、本橋(51年)、渡辺(51年)、馬場(52年院)、本山(48年)(以上敬称略)の11名でした。

概ね40年振りの再会で、冒頭、相場先生から「健康に気を付けてこれからも楽しく人生を、特に目を眼科で診て貰うことを忘れずに」とのご挨拶を頂き、乾杯の後、各自から入学から今日までの状況等が披露されました。

それぞれの話の途中でコメントやエピソードが飛び交う和やかな雰囲気の中、卒業後に親交や仕事での連絡があった方もあり、改めて同窓の繋がり、広がりを感じつつ、次の機会を期待しての散会となりました。

## S46林学科クラス会

林S46卒ほか



**日時**  
平成26年5月23日(金)  
**開催場所**  
小江戸川越「福呂屋」ほか  
**参加人数**  
17名(連絡できた級友の60%が出席)  
**実施事項**  
鈴木靖二氏の実家「福呂屋」、喜多院を訪問  
**幹事・報告者**  
横堀 誠

**<幹事のコメント>**  
毎年、秋に東京で懇親会を開催してきましたが、宿泊のクラス会ということで、鈴木氏の地元・川越市を訪問し、その歴史を堪能しました。写真は右から大野、湯本、川口、鈴木、高橋、渡邊、井上、横堀、松本、半田、佐野の11名に福士、今井、大越、大島、三浦、宮木の6名も参加し、合計17名と盛会でした。このお店は、時の鐘の隣で、139年の歴史がある和菓子店です。ぜひ、お立ち寄り下さい。

## 機械工学科S45年卒クラス会

機械S45卒ほか



**日時** 平成26年5月31日(土)  
**開催場所** 酒亭 神田 新八(東京 新丸の内ビル 5F)  
**参加人数** 10名  
**実施事項** 近況確認、親睦  
**幹事・報告者** 武富 義成

**<幹事のコメント>**  
卒業して44年ぶりの再会なので、見た目も大分変わっているのではと心配しましたが、皆、昔の面影が十分残っていて、直ぐに学生時代の雰囲気に戻ることが出来ました。都合がつかず欠席者が多く出たので少し寂しい会になるのではと懸念していましたが、すこぶる元気で、話がいつ終わるのか時間が足りなくなるのではと心配する程で、あつと言う間の楽しい3時間でした。  
写真は、前列左から河合、近藤、武富、海老原、小田、後列左から市川、横井、渋谷、平本、音羽

## 硬式野球部後援会 2013年度OB戦



**日時** 平成25年7月6日(土)  
**開催場所** 東京農工大学工学部グラウンド  
**参加人数** 40名  
**実施事項** 毎年恒例。  
昼に現役vsOBの野球の試合。  
夜に懇親会。  
**幹事・報告者** 山口 陽三(電情H9)

**<幹事のコメント>**  
近年の夏の猛暑にも負けず、最年長の70歳代・伊藤先輩(織工S36)を筆頭に硬式野球部のOBが今年も小金井グラウンドに集まりました。  
現役との対戦では小松先輩(H5)の2点本塁打、堀田先輩(H6)の満塁本塁打等で現役を圧倒。OBが7-2で勝利いたしました。  
夜は場所を移しての宴会。昼の勝利ですっかり気分がよくなったOBから、現役の秋のリーグ戦に向けての厳しくもやさしい激励がありました。  
OBのみなさん、来年もホームランをかつ飛ばして勝ちましょう。  
[http://www.yozonet.com/noko\\_baseball\\_ob/](http://www.yozonet.com/noko_baseball_ob/)

## 東京農工大学空手道部60周年記念式典



日 時 平成25年10月13日(日)  
 開 催 場 所 演武会：東京農工大学農学部武道場  
 祝賀会：ホテルコンチネンタル  
 参 加 人 数 132名  
 実 施 事 項 記念演武会・祝賀会  
 幹事・報告者 山崎 重吾(空手道部主将)

<幹事のコメント>

空手道部創立10周年から続く5年毎に行われる記念式典。今年で創立から60年がたち過去最大の盛り上がりを見せました。

午前の演武会では歴代名高OBの方々に加え古くからの稽古仲間である水戸や中央大の方々による演武も見ることができました。場所を変え午後の祝賀会では空手道部創設時のメンバーが一堂に会し、当時の稽古の様子を熱く語る姿がとても印象に残っています。

今回は現役主将として精を尽くして準備をいたしました。次回からはOBとしてこの素晴らしい場をより良いものにするべく現役のサポートをしていきたいと思っております。

畜産学研究室創設60周年記念式典

生物生産学科・旧農学科畜産教室OB



日 時 平成25年11月23日(土)  
 開 催 場 所 大國魂神社結婚式場  
 参 加 人 数 90名  
 実 施 事 項 畜産学教室創設60周年記念式典および記念出版  
 幹事・報告者 青木 隆夫(農S51)

<幹事のコメント>

農学科に畜産教室がおかれたのは昭和29年のことである。昭和30年に最初の卒業生を送り出し、平成24年まで60年間に338名を数える。

教授陣は、川端吉成、森田琢磨、野附巖、菅野茂、鎌田壽彦各先生をへて現在の佐藤幹准教授に至る。先生方の熱心な指導のもとに育てられた卒業生は、日本だけではなく世界の畜産の発展に寄与してきた。

わが研究室が有為な人材を輩出する理由のひとつに、同窓同士の良好な関係が、業界や年齢を問わず生かされていることにある。在学時に遊び呆けた頓馬でも、先輩諸氏の叱咤激励により現場で育てられるわけだ。

「過去を省みることは未来に責任を持つことである」、OB会では今回も50周年時と同様に記念誌「色の黒い奴 第2号」を刊行した。

学生、そして若い卒業生たちに歴史を伝え、さらなる活躍と研究室の発展を祈りたい。

化学工学部会からのお願い

化学工学部会では、昭和41年に設立された化学工学科の創立50周年を記念して、グラビアによる50周年史の編纂を計画しています。全国各地で活動されている化学工学科出身のOB・OGの皆様にお願ひです。化学工学科での学生生活を思い出させる懐かしい写真がありましたら、PDFにして送ってください。年代別に整理して、グラビアによる化学工学科50周年史を作って皆様にお送りしたいと思ひます。当時の話題も書き添えていただければ掲載いたします。送り先は亀山のメールアドレス(tatkame@cc.tuat.ac.jp)にお願ひします。来年、3月に発行する計画ですので、年内に送っ

ていただければ助かります。

化学工学部会  
 亀山 秀雄  
 (化工S48)



集団部会「農工大支援ネットワーク」のご紹介

同窓会集団部会「農工大支援ネットワーク」(以下、略称 AT-Netz)は平成25年度には集団部会設立趣旨に則り、下記の活動を実施しました。

1. 同窓会誌「農工通信」(後期号/86号)の作成

AT-Netzメンバーの編集委員によって、「農工通信」(後期号/86号)の原稿執筆依頼、原稿の編集作成、表紙デザインの準備等を行い、多くの原稿をいただき、平成26年1月に発行しました。



2. 異業種交流会の実施

農工大の絆をベースに同窓生間の事業者交流の促進を図るために、第一回異業種交流会を2014年3月に農工大キャンパスにて開催しました。当交流会では講演会と情報交流のための懇談会を実施し、予想以上に多くの参加をいただきました。次回は2014年秋に開催します。



3. 学生の進路・教育活動等への支援

1) 企業・工場見学会の実施

学生が技術展開の場に触れ、企業活動の実態への知見等を広めることができる工場見学を学生サークル「向友会」と共同で2回(平成25年9月、平成26年2月)に実施しました。この見学会では農工大OB・OGの当該企業社員による講演、質疑応答は学生に非常に好評でした。

2) 学生への進路・就職活動支援

AT-Netzメンバーが同窓生として、学生の進路・就職関連のキャリアアドバイザーを担当し、学生相談に対応しました。学生の進路選択や就活への具体的な取り組み(企業選択の準備、面接等への対応等々)にアドバイスを行いました。

4. 農工大産学連携およびベンチャー企業支援

AT-Netzメンバーが農工大ベンチャー企業等に経営面、技術面からの個別に支援を実施しました。

AT-Netzでは、さらなる活動の幅を広げたいと考えております。農工大OB・OGの皆様と一緒に農工大同窓会、そして農工大を盛り上げていきたいと思ひます。このような活動にご関心をお持ちの皆様、下記までご連絡いただければ、幸ひに思ひます。

e-mail: fwnw9686@mb.infoweb.ne.jp 深水智明(織工S38)

# 掲 示 板

## 2013年10月24日 東京農工大学にキャラクターが誕生しました!!

本学は、平成26年度（2014年度）に創基140周年を迎えます。それに向けて、さらなる本学のブランドイメージの向上と、在学生、教職員、卒業生、受験生、企業・地域の方など、学内外を問わず親しまれる大学となることを目指して、平成24年12月より本学キャラクターの募集・選考を行いました。デザインについては、262通の応募の中から、最終的に本学の学生・教職員の投票で1位となったデザインに決定。その後、ネーミングを募集したところ、学内外から123通ものご応募をいただきました。学内の選考委員会の厳正なる選考を行った結果、「ハッケン コウケン」に決定しました。

今後、みなさまに愛され親しまれるキャラクターを目指して学内外で活躍してまいりますので、応援よろしくお願ひします。



キャラクターのネーミングは、“新たな「発見（ハッケン）」で社会に「貢献（コウケン）」する”という本学が基本理念として標榜する「使命志向型教育研究－美しい地球持続のための全学的努力－」（MORE SENSE: Mission Oriented Research and Education giving Synergy in Endeavors toward a Sustainable Earth）を表しています。

## 2014年3月27日 お笑いコンビ「ハマカーン」が広報大使に就任



本学は、卒業生でお笑いコンビの「ハマカーン」（株式会社ケイダッシュステージ所属）の神田 伸一郎（かんだ しんいちろう）氏と浜谷 健司（はまたに けんじ）氏の両名を東京農工大学広報大使に任命しました。

ハマカーンのお二人は、農学部（神田氏）と工学部（浜谷氏）の卒業で、在学中同じ柔道部員という関係からコンビを結成し、主に府中キャンパス内にある農場でお笑いの腕を磨きデビューしました。その後、第8回漫才新人大賞受賞、THE MANZAI 2012優勝などお笑い芸人として輝かしいご活躍のほか、情報・教養番組のMCとしてもTV、ラジオなどに数多く出演されています。テレビロケや学園祭などに何度も本学に足を運んでいただき、本学を母校として大切にいただいています。

このたびの広報大使就任にあたり、卒業生という立場から本学を目指す高校生や受験生に熱い応援メッセージを贈ってくださることを期待しています。同窓生の皆様もハマカーンの応援よろしくお願ひいたします。

平成21年1月に「生協の白石さん」を任命したことにつづき、ハマカーンは第2号の広報大使となります。

科学博物館ニュース <http://www.tuat.ac.jp/~museum/>

東京農工大学科学博物館

検索

科学博物館は、リニューアルから2年目に入り、各種イベント、講演会などを随時催しています。6月17日（火）は、今年国内で14件目の世界文化遺産に登録された富岡製糸場について、「富岡製糸場をめぐる人びと～速水堅曹を中心に～」という講演会を開催、講師に製糸業の礎を築いた速水堅曹氏の孫である速水美智子氏をお招きしました。

その他、遊びながら科学を学ぶ子供科学教室の開催など、毎回好評をいただいています。

お近くにお越しの際は、是非お立ち寄りください。

### 東京農工大学創基140周年記念展 【1階展示室】

平成26年9月16日（火）～10月25日（土）  
懐かしい昔の農工大の写真が多数展示されます

## 慶 弔

**慶 事** お祝い申し上げます

**平成26年春の叙勲**

藤森 明彦 (工化S42) 旭日小綬章

**平成25年秋の叙勲**

井草 五郎 (林S32) 瑞宝双光章

**平成25年春の叙勲**

小野 宇三郎 (織別S33) 瑞宝小綬章



**弔 事** ご冥福をお祈り申し上げます

内田 稔 (元埼玉県支部長・林S37)  
平成26年6月8日逝去

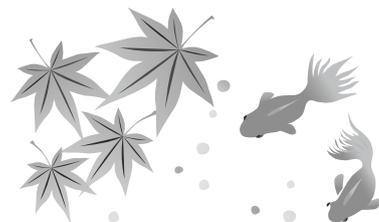
三橋 修三郎 (元青森県支部長・獣実S16)  
平成26年4月21日逝去

柳沼 泰衛 (前福島県支部長・養蚕S31)  
平成26年4月14日逝去

森下 元晴 (顧問・元副会長・元徳島県支部長・林S17)  
平成26年3月11日逝去

秋山 雅安 (名誉教授) 平成25年11月20日逝去

本谷 勲 (名誉教授) 平成25年11月14日逝去



農工大発ベンチャー

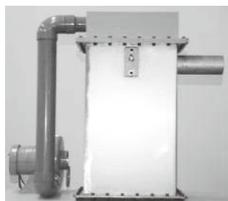
# 株式会社アルマイト触媒研究所

〒 184-0002 小金井市梶野町1-2-36 東小金井事業創造センター R-0 4  
TEL:070-6524-1613 FAX:042-388-7692 E-Mail:actjimu@actechno.co.jp HP:http://actechno.co.jp/

東京農工大学亀山研究室の研究成果としたアルマイト触媒を用いた脱臭装置、水素製造装置、オゾン発生装置、オゾン水製造装置の開発・実証実験を行いました。

これらに関する製造技術の提供し、

**パートナーを探しております。**



**小型脱臭装置(モジュール)**

(従来装置との比較)

- ・消費電力 : 50%減
- ・設置スペース : 40%減
- ・起動の時間 : 1/5 短縮



**オゾン水製造装置**

- ・用途 : 殺菌・消毒 (病院、動物病院、農業、畜産業)
- ・濃度 : 2~4 ppm
- ・発生量 : 4L/min
- ・消費電力 : 約 300 W



**水素製造装置**

- ・用途 : 燃料電池等
- ・原量 : エタノール水溶液 30% (バイオエタノール可)
- ・改質反応温度 : 500~550℃
- ・起動時間 : 1/3 短縮可

**\*ベトナム進出支援を実施しています**

詳細は弊社ホームページをご覧ください。又、直接のお問合せをお待ちしております。

詳しくは

**井口一世** で検索してください。

# 事務局だより



## 1. 会費納入のお願い

会費は同窓会活動の原動力です。正会員は同封の払込票にて次のいずれかの金額を納入してください。

**終身会費30,000円または年会費1,500円**

- ◇農工通信に払込票が同封されていない方は納入済です
- ◇過去に遡って納入の必要はありません

## 2. メールアドレスの新規登録、住所・勤務先等の変更届けのお願い

事務局では同窓生への各種連絡にスムーズに対応するため、メールアドレスの新規登録をお願いしています。

同窓会ホームページ [会員情報（住所変更など）](#) から、24時間いつでも登録、その他の変更届けができますので是非ご利用ください。従来通り、変更連絡票はがきやメール・電話など、いずれの方法でも受付けますので住所、勤務先等の変更があった場合は、すみやかに同窓会事務局までご連絡ください。

なお、同窓会が所有している会員の個人情報の公開については、ご本人の意向に沿って管理・運営し、個人情報保護には万全を期しております。

## 3. 同窓会ホームページ「ギャラリー」の作品募集

写真や絵（日本画、水彩画、油絵）、版画など内容は自由です。

200字程度の紹介文を添付して同窓会まで送ってください。

送っていただいた作品の中からホームページのトップ画面や農工通信の表紙も飾らせていただきます。

みなさまの力作を奮ってご送付ください。お待ちしております。



## 4. Facebook活用をお願い

同窓会ホームページ [会員交流広場](#) では、Facebookを利用した会員のコミュニケーションの場を提供しています。

Facebookの利用には簡単な登録が必要となりますので、詳しくは同窓会ホームページ [会員交流広場](#) をご覧ください。

また、部会・支部でFacebookページを開設された場合は、リンクを貼らせていただきますので、同窓会事務局までご連絡ください。

## 事務局着任のご挨拶

池谷 紀夫（農 S49）



ご挨拶が大変遅くなりましたが、昨年の10月1日から同窓会事務局長を務めております、池谷紀夫と申します。

私の支離滅裂な人生を紹介させていただきます。子供のころより花が好きで、小遣いをためて球根を庭の花壇に植えたりしていました。いつしか、園芸関係の仕事に就きたいと思うようになり、「大学は農学部で・・・」と決めておりました。

昭和45年、東京農工大学農学部農学科に入学することができ、府中の地での生活が始まりました。昭和45年は70年安保の年で、農工大も封鎖の翌年でまだまだ学園紛争真っ只中と言う雰囲気でした。

「学問を大学ですと言うことの意味」を常に問われている感じで学園生活を過ごしていたような気がします。当時「減反政策」が叫ばれ、「米」の研究をしてもしょうがないと言うようなことで、作物学研究室に行く学生が激減しているような時代でした。1年先輩には現在の平澤教授しか在籍していないような状況でした。園芸学研究室を希望しておりましたが、主食である「米」の研究は絶対に守っていかねばいけません・・・なんて意気込んで、学年で一人だけ作物学研究室で学ばせていただくことになりました。

その後、技術論を学びたいと思うようになり、修士課程は、生産組織学研究室に進学しました。今思うと、わがままな希望を許してくださった、農学科の先生方の懐の深さに感謝する次第です。大学院在学中に、大学の事務の方と接触する機会が増え、大学の教育研究を支えている事務職と言うものに興味がわきました。そこで公務員試験（中級）の行政職を受験して、本学の事務職員としての人生が始まりました。当時、生産組織学研究室の教授で、現在、本学教育研究振興財団の理事長の梶井先生に呼ばれて、「いいのか?」と言われ、「良いです。」と答えた場面を思い出します。懐が深いですね、その一言だけでしたから。

今では、本学の卒業生が母校の事務職員になるケースは増えてきましたが、私が第1号と言うことでした。事務職員として十数年が経ったころ、自分の生き方の成果を確認したくなり、日本南極地域観測隊の越冬隊員に応募して、これまた多くの方のご支援で実現してしまいました。32次隊の隊員として40歳の年を昭和基地で過ごさせていただきました。南極生活で学んだことは、常識は通用しない・・・逆に何でもあり・・・と言うことでした。また、いろいろな分野の方と1年間を過ごすことができ、俯瞰的に物事を見ることの重要性を勉強させていただきました。

帰国後、支離滅裂な性格が発揮され、スパゲティ屋を始めると言うことで公務員生活をやめ、スパゲティ屋は実現しませんでした。プチホテルの従業員（白馬八方尾根）、2回目（37次隊）の越冬生活を経てベルギービールの店を営むことになりました。バブル崩壊後だったので、そんなに甘いものではなく椎間板ヘルニアを発症したこともあり、店は閉めざるを得なくなりました。そんな状況を救ってくれたのが、事務職員の先輩でした。公務員への復帰の道筋を作ってください、これまた無事に本学に復職することができました。支離滅裂ではありましたが、多くの方の支えがあって無事定年退職することができました。私なりに精一杯がんばりましたので、今振り返るととても楽しい人生でした。

退職後、農学府の方でJICA草の根事業の仕事で1年半努めさせていただき、同窓会の事務局長のお話があり、微力ではありますがわがままな私を育ててくださった東京農工大学に恩返しするつもりで、お引き受けさせていただきました。

同窓会での活動は、これから多くのことを学んで行かなければならないと思いますが、今までの経験が少しでも役立つことができるよう頑張りたいと思います。府中の地においでの際は、ぜひ同窓会事務局にお立ち寄りいただければと考えております。今後ともよろしくお願いいたします。

# 編 集 後 記

Editor's note



本87号は、平成26年度前期号になります。この号では、大学の行事や同窓生の支部および部会活動を中心に皆様に情報提供を行っています。同窓会は、一昨年の平成24年に50周年を迎えました。これを機会に、皆様の各支部や部会で50周年を迎えるところも多いのではないのでしょうか。私の出身母体である化学工学科（現在は化学システム工学科）も今年度が創立50周年になります。部会で記念事業を計画しています。是非、皆様の支部・部会で50周年を計画されたら良いと思います。そのような事業をこの農工通信で報告して頂ければと思います。半世紀前の農工大の様子を知る人はまだ元気に活躍している方も多くいらっしゃると思います。手元に昔の農工大の様子を思い出させる写真をお持ちの方は、是非同窓会に送っていただければ、農工通信に写真コーナーを設けて継続的に掲載して行きたいと思います。ご協力お願いいたします。

農工大学は、今年、創基140周年を迎えます。そして、150周年に向けて10年後のありたい姿を描いて、様々な大学改革を行っています。農工大学は、100年後の日本の社会を築く上で重要な役割を担っている大学です。100年前は、農業は再生可能エネルギーをエネルギー源として生産活動が行われてきました。人口増加に伴い、生産性を向上させるために化石燃料を使用して、農業の機械化が進行し、肥料や農薬の生産が行われ食糧危機を克服してきました。そして、これから100年後は、再生可能エネルギーを積極的に活用して、今まで以上の食料生産を行うことが求められています。それを支援するのが工学の役割です。いまから、農工が連携して再生可能エネルギーを主要なエネルギー源として、今まで以上に農業生産活動が行われる新しい農業を築いていくことが求められています。

同窓会は、農工大がそのような社会のミッションを果たせる大学になっていくように、これからも応援していくと共に、実社会から大学に対して期待する意見を伝える役割も担っていると言えます。是非皆様から大学への期待するメッセージをお寄せいただければ幸いです。

広報・情報部長 亀山秀雄（化工S48）

## お知らせ

同窓会会則改正により、平成25年度の総会から正副会長・支部長をはじめ、部会・支部から推薦のあった理事や代議員のほかに、60人以内の一般の会員も構成員に加えました。

毎年1月の同窓会ホームページにて募集しますので、奮ってご応募ください。

## 農工通信 第87号

発行日 平成26年（2014年）8月1日

発行所 東京農工大学同窓会

連絡先 〒183-8538 東京都府中市晴見町3-8-1 東京農工大学同窓会事務局  
TEL 042 (364) 3328 FAX 042 (335) 3500

e-mail [info@tuat-dousokai.jp](mailto:info@tuat-dousokai.jp) URL <http://www.tuat-dousokai.org/>

振替口座 00120-9-93147番（加入者負担）

加入者名 東京農工大学同窓会

印刷所 小野高速印刷株式会社

〒870-0913 大分県大分市松原町2-1-6

お中元、お歳暮、贈り物に最適  
 部会、支部会、同窓会でも  
 ぜひご賞味下さい。

[しょうてんろく]  
**賞典禄**

農工大ブランド本格焼酎



原酒(芋)      原酒(麦)      米焼酎      芋焼酎      麦焼酎

**予告**

本学は平成26年度を以て、創基140周年を迎えました。これを記念し、今秋以降に米焼酎(長期貯蔵酒)を発売する予定です。価格もお手頃にいたしました。是非ご賞味下さい。

本学では、農学部附属広域都市圏フィールドサイエンス教育研究センター(FSセンター)で栽培した原料(米・芋・麦)をもとに製造した農工大ブランドの本格焼酎「賞典禄(しょうてんろく)」を販売しています。  
 「ご好評いただいております「賞典禄(しょうてんろく)米・芋・麦の本格焼酎」に加えて、芋・麦の熟成した原酒もろい踏みとなり、ますます品々るえが豊富になりました。  
 この原酒は、本格焼酎の個性そのものが凝縮されている焼酎で、一味違う深い味わいを楽しめるのは是非ご賞味下さい。

**賞典禄 FAX 注文票** 以下のとおり注文します。

東京農工大学 FS センター 宛 FAX : 042-367-5801

【ご注文内容】		平成	年	月	日
原酒 芋焼酎 (2,700 円) 38 度 720ml	本	米焼酎 (1,700 円) 25 度 720ml	本		
原酒 麦焼酎 (2,700 円) 43 度 720ml	本	芋焼酎 (1,700 円) 25 度 720ml	本		
焼酎 米・芋・麦3種セット (5,000 円) 25 度 720ml×3	セット	麦焼酎 (1,700 円) 25 度 720ml	本		
			<b>合計注文金額</b>	<b>円</b>	

【ご注文者様情報】

お名前	フリガナ	
住所	〒	
電話番号	FAX 番号	
生年月日	T.S.H 年 月 日	※年齢確認をさせていただく場合がございますのでご了承願います。

- 【ご注意】
- ※1 お支払いは代金引換またはクレジットカードになります。詳しくは下記 URL をご覧下さい。ただし、FAX でご注文された場合のお支払いは、代金引換のみとなりますので、ご注文者様以外への配送は致しかねます。
  - ※2 ご注文いただいた上記金額の他に、送料 (5,000 円以上は無料) 及び代金引換手数料 (代金引換額に応じた所定の金額) が必要になりますので、予めご了承願います。
  - ※3 本注文票により収集された個人情報は、賞典禄の販売以外の目的には使用いたしません。

**ネットショップ : FS センター農工夢市場ネットショップ**  
<http://www2.enekoshop.jp/shop/noukoudai/>

**問い合わせ先** 農学部附属広域都市圏フィールドサイエンス教育研究センター事務室 **TEL 042-367-5812**